

## 指定管理者事業評価 年度評価の基準について

### 1 評価内容

市と指定管理者との間で締結している協定や仕様書等を遵守して、適正に施設の管理・運営を行っているかについて、下記の項目ごとに評価(判定)し、年度評価を行ってください。

評価区分	評価内容
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか。
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか。
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。。
	④ デジタル化への対応を行ったか。
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。
	④ 労働関係法令を遵守したか。

### 2 評価区分別の評価基準

#### (1) 判定基準

評価内容の判定に当たっては、下記評価基準表を参考にしてください。

区分	評価内容	基準	判定	条件	備考
(1) 市民の視点 (50点)	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	10: 前年度利用者数120%以上 7: 前年度利用者数110~119% 5: 前年度利用者数90~109% 2: 前年度利用者数70~89% 1: 前年度利用者数69%以下	10	大きく増加した	自動判定 前年度利用者数と評価対象年度を比較
			7	増加した(平年並み)	
			5	概ね増減なし	
			2	減少した	
			1	大きく減少した	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	所管課判断 ・3利用者ニーズへの取組みに記載されている意見及び対応状況 ・利用者意見を収集する姿勢が見られるか	10	利用者満足度が大きく向上している	
			7	利用者満足度が向上している	
			5	利用者ニーズへ適切に対応している	
			2	利用者満足度が向上していない	
			1	アンケート等利用者意見収集をしていない	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	所管課判断	10	適切に対応し規定や体制に迅速な改善を行い、大きな成果を得た	
			7	適切に対応し規定や体制に改善を行った	
			5	適切に対応した	
			2	不適切な対応があった	
			1	不適切な対応が複数あった	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	所管課判断	10	市民サービス向上に新たな取組みを実施し、大きな成果を得た	
			7	市民サービス向上に新たな取組みを実施した	
			5	計画通りに実施した/自主事業を行う施設ではない	
			2	計画していたものを実施していない	
			1	自主事業を実施していない	
⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	所管課判断	10	情報公開を適切に実施し、情報の開示を積極的に実施した		
		7	情報公開を適切に実施し、情報の開示を実施した		
		5	体制を整えている		
		2	体制に改善が必要		
		1	体制が整っていない		

(2) 財務の視点 (25点)	① 計画どおり収入が得られたか。	所管課判断 当該年度の年度計画書等と比較し判断 5:計画比 概ね120%以上 4:計画比 概ね110~119% 3:計画比 概ね90~109% 2:計画比 概ね70~89% 1:計画比 概ね69%以下	5	計画を大きく上回る収入を得られた	
			4	計画を上回る収入を得られた	
			3	計画どおりの収入を得られた	
			2	計画を下回った	
			1	計画を大きく下回った	
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか。	所管課判断	5	取組みにより明確で大きな効果があった	
			4	取組みにより効果があった	
			3	概ね期待通りの取組みがあった	
			2	取組みが消極的であった	
			1	取組みが見られなかった	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか。	所管課判断	5	取組みにより明確で大きな効果があった	
			4	取組みにより効果があった	
			3	概ね期待通りの取組みがあった	
			2	取組みが消極的であった	
			1	取組みが見られなかった	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	所管課判断	5	会計監査人による監査を受けている	自動化不可
			4	適切かつ明確に区分されている	
			3	適切かつ明確に区分されている/指定管理又は自主事業の一方のみ	
			2	経理区分が明確でない	
			1	経理区分が著しく明確でない	
⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	所管課判断	5	会計監査人による監査を受けている	自動化不可	
		4	適正に管理されている		
		3	適正に管理されている/備品を持っていない		
		2	適正な管理がされていない		
		1	全く適正な管理がされていない		
(3) 業務の視点 (45点)	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	所管課判断	5	法令、水準書等の基準以上の取組みを実施し、大きな効果を得た	自動化不可
			4	法令、水準書等の基準以上の取組みを実施した	
			3	法令、水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	基準に満たなかった	
			1	著しく基準に満たなかった	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の取組みを実施し、大きな効果を得た	自動化不可 研修例:コンプライアンス研修、救命救急講習、AED操作研修等業務に必要な研修。 ※法定研修(防火管理者、食品衛生管理者等)は除く。
			4	水準書等の基準以上の取組みを実施した	
			3	水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	水準書等の要求を満たしていない	
			1	著しく水準書等の要求を満たしていない	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の取組みを実施し、内容の充実も図られていた	自動化不可 毎月の業務報告書は翌月に、年度報告書及び自己評価調書は事業年度終了後、30日以内に提出することとなります。報告内容も評価対象としてください。
			4	水準書等の基準以上の取組みを実施した	
			3	規定のとおり実施した	
			2	遅滞があった	
			1	遅滞があり、内容も乏しかった	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	所管課判断	5	新しい取組みを実施し大きな効果を得た	自動化不可
			4	新しい取組みを実施した	
			3	実施している	
			2	実施に消極的である	
			1	全く実施していない	
⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	所管課判断	5	改善指示はなく、運営状況は適切であった	自動化不可 管理運営改善状況等報告書の内容についても改善事項として考慮してください。	
		4	改善指示に対し適切かつ発展的に対応した		
		3	改善指示に適切に対応した		
		2	改善指示への対応が不十分だった		
		1	改善指示への対応を怠った		
⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	所管課判断	5	効果的な訓練実施及びマニュアルの整備に加え、有資格者等の配置など体制の強化に努めた	自動化不可 訓練例:防災訓練、防犯訓練等	
		4	効果的な訓練実施及びマニュアルが整備されている		
		3	訓練実施及びマニュアルが整備されている		
		2	訓練実施及びマニュアルの整備が不十分		
		1	訓練実施及びマニュアルの整備がされていない		

⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	所管課判断	5	運営状況が適切であるために事件・事故は発生しなかった	自動化不可	
		4	事件・事故は発生しなかった		
		3	事件・事故に適切に対応した		
		2	事件・事故への対応が不十分だった		
		1	事件・事故への対応が著しく不十分だった		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	所管課判断	5	法令、水準書等の基準以上の取組を実施し、有資格者等の配置など体制の強化に努めた	自動化不可
			4	法令、水準書等の基準以上の取組を実施した	
			3	法令、水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	体制に不備がある	
1			体制を整えていない		
⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	所管課判断	5	積極的に取組を行いサービス向上などの効果を得た	自動化不可	
		4	積極的に取組を行いサービス向上などに努めた		
		3	適時取組を行っている		
		2	必要な取組みが不十分		
		1	必要な取組を行っていない		
(4) 人材の視点 (20点)	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	所管課判断	5	規定以上の職員配置に加え、有資格者等の配置など体制を強化している	自動化不可
			4	規定以上の職員を配置している	
			3	規定のとおり配置している	
			2	規定に達していない	
			1	規定に達しておらず、問題が生じた	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の職員配置に加え、有資格者等の配置など体制を強化している	自動化不可
			4	水準書等の基準以上の職員を配置している	
			3	水準書等の基準のとおり配置している	
			1	水準書等の基準に達しておらず、問題が生じた	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の取組を実施し、効果を得た	自動化不可 研修例:接客(おもてなし)研修、英会話研修、チラン・ポップ作成研修など。 ※法定研修は除く。
			4	水準書等の基準以上の取組を実施した	
			3	水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	水準書等の要求を満たしていない	
			1	水準書等の基準に達しておらず、問題が生じた	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	所管課判断	5	基準以上の取組を実施し、効果を得た	自動化不可
			4	基準以上の取組を実施した	
3			基準に定めたとおり実施した		
2			基準を満たしていない		
1			基準を満たしておらず、問題が生じた		

## (2) 区分得点について

評価内容の判定結果の得点で決定します。

評価内容	得点
(1) 市民の視点	50点
(2) 財務の視点	25点
(3) 業務の視点	45点
(4) 人材の視点	20点
総合得点(合計)	140点

## 3 年度評価の基準

総合得点の結果に応じて、次の評価基準に従って年度評価を決定します。

年度評価	評価基準
S (極めて優良)	120点以上
A (優良)	110~119点
B+ (良好)	100~109点
B (要一部改善)	80~99点
B- (要改善)	70~79点
C (不良)	60~69点
D (極めて不良)	59点以下

※年度評価結果、改善指導方針については評価確定後、施設所管課より全指定管理者に周知・指導してください。

改善が必要な施設には速やかにその旨を指導し、改善を促すこととしてください。

中野市公の施設に係る指定管理者の令和4年度事業評価結果

## 中野市公の施設に係る指定管理者の令和4年度事業評価結果一覧

(令和5年3月31日現在)

施設状況		年度評価結果 (7段階)	前年評価結果 (「S,A,B,C」 4段階)
1	施設名	中野市デイサービスセンター さくら (すみれ)	
	指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	
	施設概要	事務室、訓練室、休養室、食堂、浴室	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	利用の許可に関する業務 介護保険法及び中野市デイサービスセンター条例に基づく業務	
	担当課	高齢者支援課	
2	施設名	中野市福祉ふれあいセンター及び中野市さんさん館(計3施設)	
	指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	
	施設概要	ふれあいセンター(身体障害者福祉ふれあいセンター、母子通園訓練施設、共同作業訓練施設) ふれあいセンター永田分場(共同作業訓練施設) さんさん館(調理室実習室、研修室、身障者用トイレ)	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	ふれあいセンター 条例に定める事業(身体障害者福祉、母子通園、共同作業) さんさん館 施設の管理運営、維持管理及び保守管理	
	担当課	福祉課	
3	施設名	中野市精神障害者社会復帰施設(計2施設)	
	指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	
	施設概要	中野市りんごの木共同作業所(作業室、展示室、休憩室、食堂、事務室等) 中野市びあワーク就労支援施設(作業室、静養室、会議室、食堂、事務室等)	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料(りんごの木)、利用料金制(びあワーク)	
	主な実施事業	条例に定める事業(生活訓練、作業訓練、就労指導)	
4	施設名	中野市民プール	
	指定管理者	株式会社 日本水泳振興会	
	施設概要	管理棟、競泳プール、流水プール、幼児プール、スライダー	
	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	プール施設管理運營業務、指定管理者による自主事業(水泳教室などのイベント)	
5	施設名	中野市民体育館ほか体育施設(計15施設)	
	指定管理者	中野市体育協会	
	施設概要	中野市北公園、中野市民体育館、中野市コミュニティスポーツセンター、中野市営野球場、中野市営運動場、中野市武道館(柔剣道)、中野市営テニス場、中野市弓道場、中野市篠井川河川敷運動広場、中野市屋内運動場、中野市営豊田テニス場、中野市営豊田野球場、中野市営豊田マレットゴルフ場、中野市永田社会体育運動場、中野市B&G海洋センター	
	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業	
担当課	文化スポーツ振興課		

施設状況		年度評価結果 (7段階)	前年評価結果 (「S,A,B,C」 4段階)
6	施設名	<b>中野市多目的サッカー場</b>	
	指定管理者	中野市体育協会	
	施設概要	サッカーグラウンド、管理棟	
	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	サッカー場施設管理及び運営	
	担当課	文化スポーツ振興課	
7	施設名	<b>中野市農村環境改善センター(帯の瀬ハイツ)</b>	
	指定管理者	公益社団法人 中野広域シルバー人材センター	
	施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室、多目的ホール、事務室、農事相談室、健康相談室、浴室、管理人室、機械室、倉庫、トイレ	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	各会議室、調理実習室、浴室等の貸館事業	
	担当課	農業振興課	
8	施設名	<b>中野市豊田農産物加工施設</b>	
	指定管理者	中野市豊田農産物加工施設利用組合	
	施設概要	加工室、研修室、材料搬入室、材料庫、熟成室	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	おやき、味噌、アップルパイ加工販売	
	担当課	地域振興課(令和5年度から農業振興課)	
9	施設名	<b>中野市南永江地区地域交流センター</b>	
	指定管理者	南永江自治会	
	施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室	
	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業	
	担当課	地域振興課(令和5年度から農業振興課)	
10	施設名	<b>中野陣屋・県庁記念館</b>	
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	
	施設概要	展示室、コミュニティホール、土蔵、トイレ、談話室、事務室、倉庫、会議室、ギャラリー(画廊)、多目的ホール	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	管理運営事業、自主事業(特別展、喫茶運営等)	
	担当課	商工観光課	
11	施設名	<b>中野市観光会館・日本土人形資料館</b>	
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	
	施設概要	展示室、茶室、会議室、事務室、体験室、トイレ、倉庫、外周の手すり及び回廊、前庭、駐車場	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	施設の使用に関すること 自主事業に関すること(お土産販売事業、絵付け体験事業)	
	担当課	商工観光課	

施設状況		年度評価結果 (7段階)	前年評価結果 (「S,A,B,C」 4段階)
12	施設名	信州中野観光センター	
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	
	施設概要	ホール、事務室、トイレ、倉庫、駐車場	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	施設の観覧に関すること 自主事業に関すること(アンテナショップ事業、売店事業、イベント事業)	
	担当課	商工観光課	
13	施設名	中野市晋平の里間山温泉公園(ぼんぼこの湯)	
	指定管理者	(株)リープクリエイティブス	
	施設概要	ぼんぼこの湯全施設、マレットゴルフ場全施設、ログコテージ全施設	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	施設の管理運営、 自主事業に関すること(温泉事業、売店事業、食堂事業、マレットゴルフ事業、ログコテージ事業)	
	担当課	商工観光課	
14	施設名	中野地域職業訓練センター	
	指定管理者	職業訓練法人 中高職業訓練協会	
	施設概要	施設管理業務、自主事業(職業能力開発校ほか)	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業(職業能力開発校ほか)	
	担当課	商工観光課	
15	施設名	中野市まちなか交流の家	
	指定管理者	なつちよ合同会社	
	施設概要	体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、倉庫	
	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	施設の管理運営、土人形の絵付け指導、指定管理者による自主事業(施設内絵付け体験事業、出張絵付け体験事業、土人形制作販売及び付随品の販売、中野土人形販売)	
	担当課	商工観光課	
16	施設名	中野市関係人口創出拠点施設	
	指定管理者	(株)リープクリエイティブス	
	施設概要	交流スペース、コワーキングスペース・レンタルオフィス、多目的ルーム(宿泊、オフィス利用)	
	指定期間	令和3年10月1日～令和7年3月31日(3年6ヶ月間)	
	収入	指定管理料+利用料金	
	主な実施事業	貸スペース事業・飲食店運営事業、宿泊事業	
	担当課	商工観光課	
17	施設名	中野市豊田温泉公園(もみじ荘)	
	指定管理者	ユアーズ静岡 株式会社	
	施設概要	もみじ荘、食堂、休憩コーナー、ゲートボール場	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料、利用料金	
	主な実施事業	温泉・食堂・特産品販売	
	担当課	地域振興課(令和5年度から商工観光課)	

施設状況		年度評価結果 (7段階)	前年評価結果 (「S,A,B,C」 4段階)
18	施設名	中野市斑尾高原体験交流施設(まだらおの湯)	
	指定管理者	株式会社 斑尾	
	施設概要	まだらおの湯・食堂・休憩コーナー・キャビンハウス・キャンプ場・マレットゴルフ場	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	温泉・食堂・特産品販売	
	担当課	地域振興課(令和5年度から商工観光課)	
19	施設名	中野市豊田ふるさと交流館(道の駅)	
	指定管理者	株式会社 斑尾	
	施設概要	道の駅・交流室・特産品販売コーナー・食堂・休憩コーナー・農産物直売所	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	食堂・特産品販売	
	担当課	地域振興課(令和5年度から商工観光課)	
20	施設名	一本木公園ほか(計3施設)	
	指定管理者	一般社団法人 一本木公園バラの会	
	施設概要	一本木公園:多目的広場、修景広場、野外ステージ、遊戯広場、林間プロムナード、あずまや(全面積3.4ha) 一本木公園展示館 一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム	
	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	施設及び設備の維持管理事業、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業	
	担当課	都市計画課	
21	施設名	北信濃ふるさとの森文化公園	
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	
	施設概要	温室・昆虫館、サマーボブスレー及び遊具等、マレットゴルフ場、オートキャンプ場、多目的グラウンド、デイキャンプ場、ハーブ園(全面積15.4ha)	
	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	施設及び設備の維持管理事業、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業	
	担当課	都市計画課	
22	施設名	高梨館跡公園	
	指定管理者	有限会社 山本組	
	施設概要	高梨邸、駐車場、土塁、空堀、庭園、建築跡、木橋ほか(全体面積1.8ha)	
	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	施設及び設備の維持管理事業、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業	
	担当課	都市計画課	

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	健康福祉部高齢者支援課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市デイサービスセンターさくら(すみれ)						
指定管理者	社会福祉法人中野市社会福祉協議会	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令	介護保険法						
設置条例	中野市デイサービスセンター条例						
施設設置目的	在宅高齢者の通所介護サービスを実施する。						
施設概要	事務室、訓練室、休養室、食堂、浴室						
施設の主な実施事業	利用の許可に関する業務、介護保険法及び中野市デイサービスセンター条例に基づく業務						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	利用者実人数		806	883	91.3%		
	利用者延べ人数		7,522	8,018	93.8%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額		市収入額		
	項目	予算額		決算額			
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	73,357,075	73,941,000	-583,925	68,638,592	62,076,425	6,562,167
	自主事業	0	0	0	171,700	171,700	0
合計	73,357,075	73,941,000	-583,925	68,810,292	62,248,125	6,562,167	
職員の配置状況	所長1名、生活相談員3名、看護師3名、介護員5名、合計12名 (正規職員2名、嘱託職員6名、臨時職員4名)						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 施設利用は1日となっているが、本人の状態を考えると半日の利用にしてほしい。	→	ご家族の協力と、施設での利用時間の調整を行い、入浴と昼食後に家族のお迎えで半日利用が可能となった。
【苦情・改善の要望】 施設利用日は毎回入浴したい。	→	特浴は特に一日の入浴人数に限度があるため、週に5日利用される方は一日おきの入浴とさせていただき、毎日利用できないことをご理解いただいた。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		27
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	利用者の要望どおりのサービス提供ができた。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		14
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	2	居宅介護支援事業者と連携し、新規利用者の増加に努めたが、コロナのため長期利用休止する利用者も多く、増収にはならなかった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		31
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	市からの改善指示はなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	定期的に施設周辺の見回り・危険個所の点検を行い、火災だけでなく土砂災害を想定した避難訓練を実施した。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	4	基本協定に定める人数以上の職員を配置している。	13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(2)② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	コロナ感染リスク回避や長期施設入所のため、長期的に利用休止している利用者が多い状況である。積極的にケアマネージャー等に営業を強化し、利用者獲得に努めていく。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>27</b> (50)	新型コロナウイルス感染症の感染リスク回避のため、利用控えるケースもあり、利用者数については前年度に達していないが、居宅介護支援事業所と連携し、新規利用者の増加に努めている。 電気、ガス、食料品等の価格高騰による負担は大きいですが、経費削減に努めながら、質の高いサービスの提供をお願いしたい。
(2) 財務の視点	<b>14</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>31</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>13</b> (20)	
年度評価	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	デイルーム水道混合栓修繕	36,850	36,850	
	ろ過装置ろ過材取替	107,800	107,800	
	温水循環ポンプフレキ交換	63,935	63,935	
	急騰ボイラー漏水修理	47,960	47,960	
	誘導灯取替	357,500	357,500	
	特殊浴槽キャスター交換	81,840	81,840	
	車輛修繕	145,304	145,304	
	合計	841,189	841,189	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1	1,000,000			
差額	-158,811			

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額	0			

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	基本協定書のとおり
----------------------	-----------

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	健康福祉部福祉課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市福祉ふれあいセンター及び中野市さんさん館						
指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				
根拠法令	障害者総合支援法、児童福祉法						
設置条例	中野市福祉ふれあいセンター条例、中野市介護予防拠点施設条例						
施設設置目的	身体障がい者及び心身障がい者の福祉の増進を図る						
施設概要	事務室、作業室、保育室、相談室、会議室、訓練室他						
施設の主な実施事業	中野市福祉ふれあいセンター(身体障害者福祉センター、共同作業訓練施設【竹馬】、母子通園施設【いちご学園】) 中野市さんさん館(介護予防拠点施設)、中野市福祉ふれあいセンター永田分場(共同作業訓練施設【たんぼぼ】)						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	別紙のとおり				0.0%		
					0.0%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	47,076,000	市収入額		
	項目	予算額		決算額			
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	49,126,134	50,564,000	-1,437,866	49,820,334	45,783,743	4,036,591
	自主事業	0	0	0	0	0	0
合計	49,126,134	50,564,000	-1,437,866	49,820,334	45,783,743	4,036,591	
職員の配置状況	ふれあいセンター及びさんさん館(西条):所長1名、所長代理1名(兼務)、指導員6名、保育士2名、看護師2名 永田分場たんぼぼ(永田):分場長1名(兼務)、指導員2名、担当職員1名(兼務) 以上合計14名(常勤12名、臨時2名)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・コロナ禍ではあったが、人数制限したことで安心して参加することができた。	→	引続き感染予防に努める
【苦情・改善の要望】 ・開催時期の変更希望	→	講師や参加者の意見を聞き検討する

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	母子通園訓練施設では前年対比20.4%の減でコロナ禍による影響、さんさん館は前年比15.1%増でサークル利用が増えた。永田分場は前年比16.5%増で利用が広がった	26.0
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり	ふれあいセンターの講座では、感染症対策と多人数にならぬよう分散開催し、安心して参加できる環境と、アンケート調査の希望により講座を企画した。共同作業訓練施設では施設外就労を多く取り入れ多種多様な訓練経験が出来た。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり	予算額に対する利用料金収入の減については、ふれあい講座受講料で実費相当も含まれるため、コロナ禍での講座内容の見直しや規模縮小によりやむを得ない部分はある。	15.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり	光熱費高騰に対応するため、照明のLED化を進め、中分電力の節電プログラムに参加し冬季電気料を圧縮した。(22万円程の削減につながる)	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		29
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり		
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり	評価項目の新設	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり	評価項目の新設	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり		
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1)①施設の利用者数は前年に比べて増加したか (母子通園訓練施設)	母親の育児不安などの情報交換ができる場を計画したが、コロナ感染状況により実施は出来なかった。感染予防に配慮し、ニーズを把握しながら不安解消と交流の機会を確保していく。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>26.0</b> (50)	○ 施設の管理運営にあたり、利用者ニーズを把握、効果的・効率的な事業運営、満足のいくサービスの提供に努めた。光熱費高騰に対応し照明のLED化や中部電力の節電プログラムに参加、冬季電気料を圧縮(22万円程)出来た。
(2) 財務の視点	<b>15.0</b> (25)	○ ふれあい講座で検温器・手指消毒液等を設置、感染予防に関わる注意喚起、多人数を避け講座の分散開催、受講者へのアンケート調査実施し講座を企画した。
(3) 業務の視点	<b>29.0</b> (45)	○ 貸館について、コロナウイルス感染状況を注視し受入れ人数の制限緩和を行った。 ○ 共同作業訓練施設「竹馬」は、一般就職への取組みとして、施設外就労でキノコ工場の筒かぶせ作業、ぶどうパックのシール貼り、中野庁舎の清掃、年賀状印刷など、多種多様な作業を経験出来た。一般就労にステップアップできるよう支援している。
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	○ 共同作業訓練施設永田分場「たんぼぼ」は、社会復帰を目的に、施設外訓練としてタオルの洗濯作業、公衆トイレ清掃を行った。ラジオ体操・ストレッチのほか体力維持につながる歩行訓練を行い、地域の方と接する機会を設けた。
<b>年度評価</b>	<b>B</b>	○ 心身障がい児母子通園訓練施設「いちご学園」は、保育園との交流保育を入園決定の児童に行った。北信病院の理学療法士・作業療法士の専門的なりハビリ、音楽療法としてリズム教室を開催。コロナ禍で利用者が前年より減少、交流内容など工夫、安心して参加できるようにした。
<b>要一部改善</b>		○ 環境美化について、バラボランティア養成講座を実施、ふれあいセンターのバラ手入れも定期的に行った。バラの時期は、地域やデイサービスセンターの皆さんが楽しまれた。

7 支出確認事項

(1) 修繕費

	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
修繕費 (円)	竹馬、いちご学園人工芝張替え	499,061		剥がれてきており、つまづく危険があるため
	消防点検不良箇所	108,900		
	多目的トイレ水栓取替	94,600		故障のため
	照明器具増設	72,600		作業場を明るくするため
	照明LED化	52,800		電気代節約のため
	トイレタンク取替	35,200		ひび割れのため
	その他修繕	211,340		コンセント増設、マシン修理他
	合計	1,074,501	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		1,000,000		
差額		74,501		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
備品 購入費 (円)	ルームエアコン	506,000		故障したため
	複合機	316,800		故障したため
	合計	822,800	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		903,000		
差額		-80,200		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	協定書のとおり
----------------------	---------

施設利用状況

(別紙)

	利用区分等(単位)	令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	身体障害者福祉センター利用者数	9,111	8,488	107.3%
	共同作業訓練施設利用者数	2,369	2,468	96.0%
	母子通園訓練施設利用者数	399	501	79.6%
	中野市さんさん館利用者数	1,325	1,151	115.1%
	永田分場利用者数	538	462	116.5%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	13,742	13,070	105.1%
施設 使用 回数 (回)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
		施設利用回数 合計	0	0
施設 利用 料金 (円)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
		施設利用料金 合計	0	0

3 事業の実施状況

区分	評価内容	身体障害者福祉センター	共同作業訓練施設	母子通園訓練施設	中野市さんさん館	永田分場												区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	5	2	7	7												26.0
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	7	5	5	5												
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	5	5	5	5												
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5	5	5	5	5												
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5	5	5	5	5												
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	3	3	3	3												15.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3	3	3	3												
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	3	3	3	3												
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3	3	3	3												
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	3	3	3	3	3												
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3	3	3	3												29.0
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3	3	3	3												
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3	3	3	3												
	④ デジタル化への対応を行ったか。	4	4	4	4	4												
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	3	3	3	3												
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3	3	3	3												
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	3	3	3	3	3												
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3	3	3	3	3												
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	4	4	4	4	4												
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3	3	3	3												12.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3	3	3	3												
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3	3	3	3	3												
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3	3	3	3												

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	健康福祉部福祉課		評価対象年度	令和4年度	
施設名称	中野市精神障害者社会復帰施設						
指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会		指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)			
根拠法令	障害者総合支援法						
設置条例	中野市精神障害者社会復帰施設条例						
施設設置目的	精神障がい者の社会復帰の促進を図る						
施設概要	中野市りんごの木共同作業所(作業所、展示室、休養室、食堂、事務室等) 中野市びあワーク就労支援施設(作業室、静養室、会議室、食堂、事務室等)						
施設の主な実施事業	条例に定める事業(生活訓練、作業訓練、就労指導)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	別紙のとおり					0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	12,984,000	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	79,884,242	80,388,000	-503,758	90,518,018	70,867,309	19,650,709
	自主事業	0	0	0	0	0	0
合計	79,884,242	80,388,000	-503,758	90,518,018	70,867,309	19,650,709	
職員の配置状況	りんごの木(南宮):所長(兼務)1名、所長代理(兼務)1名、指導員3名 計3名 びあワーク(三好町):所長(兼務)、所長代理(兼務)1名、サビ管1名、職業指導員1名、生活支援員3名、目標工賃達成指導員1名、事務職員兼目標工賃達成指導員1名 計9名(正規職員2名(社会福祉士)、嘱託職員6名、臨時職員1名、(他パート職員7名))						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
市の保健師や相談事業所などの関係機関と連携を密にし、ニーズの掘り起こしを行い新規利用者確保に努める。	→	施設の管理運営にあたり、利用者アンケートによる満足度調査をし、利用者に満足いただけるサービス提供に努めた。毎月1回所長面談で苦情・要望の聞き取りを行い関係機関と連携を図った。
社協のホームページ等を活用し、PRを図り利用者増に努める。	→	社協のホームページを活用し、PRを図るとともに、お知らせなど情報提供に努めた。
施設内の感染症対策を徹底し、安心して通所できる環境づくりを行う。	→	感染予防対策として、検温器や手指消毒液の設置、感染拡大防止対策として、作業室を分散し安心安全な作業環境の構築に努めた。
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 日々の作業や事業所内トラブルに対応するための取組み	→	北信総合病院の作業療法士によるソーシャルスキルトレーニングによる機会を計画したが、令和4年度は感染予防対策から外部からの招へいに難があり、事業所サビ管によるトレーニング機会を実施した。
【苦情・改善の要望】 ・コロナ禍ではあるが、みんなで食事やバランスの良いものを食べたいとの意見	→	飛散防止パネル等安心安全な環境整備を図り、昼食提供サービスを実施した。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり		27.0
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり	りんごの木共同作業所では、自主製品(エコパック等)を作成し販売、敬老会事業等の記念品にも採用。利用者1名が一般就労へつながった。びあワーク就労支援施設では、5名の新規登録、社会生活訓練、昼食提供サービス、送迎サービスなど評価されている。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり		15.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		29
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり		
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり		
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	27.0 (50)	○ りんごの木共同作業所では、自主製品のエコバック等を作成、コロナ禍でイベント等の販売機会を失うが、市内観光施設や病院レストラン等に販売を委託、敬老会事業等の記念品に採用され売り上げを伸ばすことできた。利用者1名が一般就労へ移行した。コロナ禍で依然として利用控えあり、昨年度比較で利用者数の減となった。利用者の自主性を尊重し、事業所内で、みそ汁作りやイベント等に積極的参加など出来ている。 ○ ぴあワーク就労支援施設では、今年度5名の新規登録者あり、前年度比較で延べ415名を上回る利用状況。飛散防止パネルの設置、作業室分散など感染症対策により安心感が向上、利用控えも減少した。ソーシャルスキルトレーニング(社会生活技能訓練:挨拶やコミュニケーションのとり方なども含)を事業所内で実施。昼食提供サービス、送迎サービスが評価されており、特別支援学級からの実習希望も増えている。施設外就労先から作業の正確性が評価され、季節的から通年作業へ安定した作業量を確保、利用者工賃向上に繋がった。バランスの良い昼食提供、フードバンク事業を活用し利用者の負担軽減を図る。 ○ 職員研修では、自立支援協議会の部会等への参加により資質向上に努めている。 ○ 苦情・要望については、毎日行う朝夕の職員ミーティングにより対応、毎月工賃支給に合わせて所長面談実施、利用者から施設管理者へ苦情を申し出る体制を整えている。利用者の求めに応じてサビ管が速やかに対応でき利用者からも評価されている。
(2) 財務の視点	15.0 (25)	
(3) 業務の視点	29.0 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	食堂照明器具交換	118,800		経年劣化による故障
	雨樋修理	8,800		経年劣化による故障
	玄関手摺設置	16,000		安全確保
	作業室照明器具交換	118,800		経年劣化による故障
	事務室照明器具交換	118,800		経年劣化による故障
	洋風便器交換	129,800		経年劣化による故障
	合計	511,000	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		1,000,000		
差額		-489,000		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	作業室エアコン入替	357,500		経年劣化による故障
	合計	357,500	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		903,000		
差額		-545,500		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	協定書のとおり
----------------------	---------

施設利用状況

(別紙)

	利用区分等(単位)	令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	中野市りんごの木共同作業所	1,840	1,935	95.1%
	中野市ひあワーク就労支援施設	5,536	5,121	108.1%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
		施設利用状況 合計	7,376	7,056
施設 使用 回数 (回)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
		施設利用回数 合計	0	0
施設 利用 料金 (円)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
		施設利用料金 合計	0	0

3 事業の実施状況

区分	評価内容	りんこの木共同作業所	びあワーク就労支援施設																区分得点	
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	5																27.0	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	7																	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	5																	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5	5																	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5	5																	
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	3																15.0	
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3																	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3																	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3																	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	3	3																	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3																29.0	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3																	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3																	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	4	4																	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	3																	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3																	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	3	3																	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3	3																	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	4	4																	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3																12.0	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3																	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3	3																	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3																	

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	くらしと文化部文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市民プール						
指定管理者	株式会社 日本水泳振興会	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)				
根拠法令	なし						
設置条例	中野市体育施設条例						
施設設置目的	市民体育の向上を図るため						
施設概要	管理棟、50m競泳プール、流水プール、幼児プール、スライダー						
施設の主な実施事業	プール施設管理運營業務、指定管理者による自主事業(物販、水泳教室などのイベント)						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	プール利用者数(人)		8,868	9,417	94.2%		
	プール利用料収入(円)		999,700	1,061,900	94.1%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>		指定管理料額	8,148,148	市収入額	999,700
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	8,148,148	8,148,148	0	8,148,148	8,153,579	-5,431
	自主事業	766,000	615,400	150,600	310,630	277,060	33,570
合計	8,914,148	8,763,548	150,600	8,458,778	8,430,639	28,139	
職員の配置状況	現場責任者:1名、現場副責任者:1名、プール監視員及び受付員:15名 合計17名 (正規職員2名、臨時職員15名)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
新型コロナウイルス蔓延防止対策として、臨時休館による入場者数の人数制限を実施したことが利用者減少の主な要因。令和3年度においても同様にコロナウイルス感染症リスク下での営業となるが、来場者間および職員と来場者との対人距離確保、共用部分のこまめな清掃およびアルコール消毒作業等の可能な限りの感染防止対策を講じるとともに、感染防止措置を取った上での施設営業である旨を広報し、利用者の増加に努める。	→	R4は、指定管理者が変更となったが、万全な新型コロナウイルス感染症対策を実施した。
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 バルーンプールが楽しかった	→	今後もイベントを行って参ります。
【苦情・改善の要望】 監視員同士がおしゃべりをしている プールサイドが熱くて歩けない 売店がやっていないことが多い	→	監視員・受付員も含め私語を慎むよう周知徹底を致しました。 水を撒き温度の上昇を抑制しました。 団体と協議し改善に向けて検討をしております。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	7月第3土曜日から8月最終日曜日までの38日間、営業をした。R5は、7月の土日、お盆明けの平日の営業日を増やし、利用者を取り込みたい。	19
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	2	2年目となるR5は、利用者ニーズに応え、売店販売時間の拡大、内容の充実、多彩なイベントを実施されたい。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	2	一部、予定していたイベントを計画通りに行えなかった。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5	社内規定に基づき対応できる体制で実施	
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	1	新型コロナウイルスの影響や天候に左右され、計画どおりの収入が得られなかった。	13
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		34
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	市担当からもご尽力いただき滞りなく運営できた。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	整備を行い、体制通りに実施した。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	5	事件・事故の発生はなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(2)① 計画どおり収入が得られたか	指定管理者として初年度であったため、人員確保、自主事業の実施などで苦戦した。屋外施設のため、利用者数は天候に左右される部分はあるが、他施設の運営経験を活かし、利用者増、収入増に結びつけてほしい。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>19</b> (50)	新型コロナウイルス感染症対策を実施したが、営業期間中の雨の日5日間とお盆明けからの気温低下により、利用者が伸びなかった。 次年度の売店は家族、グループ、学生のニーズに沿う物販、飲食物を取り扱い、プール営業時間中は営業されたい。 自主事業も積極的に実施し、利用者数及び利用料の増加を期待する。
(2) 財務の視点	<b>13</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>34</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
年度評価	<b>B-</b>	
<b>要改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	スライダー修繕	33,200	300,000	
	プールサイド床面補修	90,340		
	プールサイドマット補修	175,000		
	合計	298,540	300,000	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		300,000		
差額		-1,460		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	購入なし			
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	くらしと文化部文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市民体育館ほか14施設						
指定管理者	中野市体育協会	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)				
根拠法令	なし						
設置条例	中野市体育施設条例、中野市B&G海洋センター条例						
施設設置目的	市民体育の向上を図るため						
施設概要	中野市民体育館ほか14施設 中野市民体育館:競技面積12,200㎡、中野市営運動場:競技面積 9,545㎡、中野市民体育館:鉄筋コンクリート造2階建 競技面積1,728㎡、中野市武道館:柔道場14m×13m 剣道場14m×23m、中野市営テニス場:砂入人工芝コート8面、 中野市弓道場:建築面積 523㎡、中野市篠井川河川敷運動広場:競技面積 4,500㎡、中野市コミュニティスポーツセン ター:アリーナ・多目的ルーム・トレーニングルーム、中野市屋内運動場:建築面積 820.88㎡、中野市豊田テニス場: 競技面積2,280㎡、中野市豊田野球場:競技面積15,220㎡、中野市豊田マレットゴルフ場:競技面積1,800㎡、中野市 永田社会体育運動場:競技面積 4,008㎡、中野市B&G海洋センター:鉄筋コンクリート2階建 競技面積 1,453㎡、中 野市北公園:公園面積7ha						
施設の主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	別紙のとおり					0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>		指定管理料額	56,430,000	市収入額	8,249,940
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	61,383,842	57,860,000	<b>3,523,842</b>	63,154,231	58,663,817	<b>4,490,414</b>
	自主事業	300,000	300,000	<b>0</b>	366,593	366,593	<b>0</b>
合計	61,683,842	58,160,000	<b>3,523,842</b>	63,520,824	59,030,410	<b>4,490,414</b>	
職員の配置状況	事務局長:1名、事務局次長1名:事務員:5名、作業主任1名《うち兼務2名》合計8名 (常勤3名、非常勤5名)						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
<p>【良好とする評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の大会予約で事前調整がスムーズにまり調整会議の負担が減った。</li> <li>・チームの役員変更で施設の予約や利用方法がわからないところを度々相談ののってもらった。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数施設を長期間、連続で使用する場合の予約の調整や、大会等における施設利用方法など必要に応じて相談するなど対応している。</li> </ul>
<p>【苦情・改善の要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①トイレに汚物が詰まって汚れている。21件</li> <li>②テニスコートの照明が点灯しない。7件</li> <li>③修繕・更新・利用方法への要望 21件</li> <li>④受付対応(態度が悪い、予約のミス等)7件</li> <li>⑤利用者間のトラブル8件</li> <li>⑥マイマイガ・毛虫の駆除 4件</li> <li>⑦近接住宅地付近(ハケ郷)の草刈りや樹木の伐採 4件</li> <li>⑧北公園内での犬の放し飼い 4件</li> <li>⑨公園内の不法投棄ゴミの片づけ 3件</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>①清掃などの応急措置後修理。屋外トイレにゴミ・空き缶などの投げ込みが頻発、また水の流れも悪いことが原因。注意喚起の張紙のほか、防犯カメラの設置など未然防止策も検討したい。</li> <li>②水銀灯の玉切れは交換、器具の老朽化等で点灯時間にタイムラグがありトラブルのもと。</li> <li>③実施可能なもの9件対応。</li> <li>④個別指導を実施し、重大ミスや繰り返し苦情がある場合は解雇または配置転換をしている。</li> <li>⑤状況確認の上、両者の理解を得る。</li> <li>⑥樹木への殺虫剤散布、卵の駆除を実施。</li> <li>⑦地権者と現地立会をし、作業を実施している。</li> <li>⑧来園者同士のトラブルに発展することもあり、巡回時に注意を呼びかけている。</li> <li>⑨タバコの吸い殻や家庭ゴミが投棄され、近隣からの苦情が度々ある。その都度、巡回、回収処分している。</li> </ul>

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	新型コロナウイルスの対応が競技団体により大きく異なるものの、施設利用は概ね回復基調にあり、全体とすれば前年比16.4%の増	23.7
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり	・初心者テニス教室 161名 ・トレーニング講習会 27名 ・スポーツ大会協力支援 5大会（全日本剣道連盟指導法講習会ほか）	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり	新型コロナウイルスの影響により、施設利用にばらつきはあるものの全体とすれば前年比24.3%の増	15.7
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり		25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		28.9
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり		
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり		
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1)①施設の利用者数は前年に比べて増加したか (2)①計画どおり収入が得られたか	利用者数は新型コロナウイルス感染症の流行前と同程度に回復すると思われる。自主事業が少ないので、積極的に取り組んでいきたい。
(1)④利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	設置目的に合致した自主事業が少ない。利用者数が減少傾向にある施設は、積極的に取り組んでいただきたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>23.7</b> (50)	R4は新型コロナウイルス感染症の今後の状況が読めない中、施設利用者(大会主催者、サークル)に制限下での利用アドバイスをし、前年を上回る利用者の施設があった。利用減の施設においては、加盟団体に属する登録者の減も推測され、幅広い年代に応じたスポーツの普及に期待をしたい。 今後は、施設の管理のみでなく、管理者の強みを生かした自主事業にも積極的に取り組んでいただきたい。
(2) 財務の視点	<b>15.7</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>28.9</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
<b>年度評価</b>	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
修繕費 (円)	市民体育館 火災報知器修繕	688,600		消防設備点検による指摘事項
	市営野球場 観覧席ベンチ防腐剤塗装修繕	517,000	400,000	木製ベンチ破損部分の取り換えを増工
	市営球場便所棟 下水管つまり修繕	463,100		下水道管が木の根の浸食により閉塞したため
	北公園 遊具修繕	330,000		公園遊具設備点検による指摘事項
	北公園 円形ベンチ座板修繕	198,000		老朽化による破損・金属むき出し箇所多数のため
	コミュニティーセンター ベランダフェンス修繕	177,004		屋根の雪の滑落により破損
	その他66件	2,710,043		
	合計	5,083,747	400,000	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		4,500,000		
差額		583,747		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
備品 購入費 (円)	バドミントン兼用支柱8組	369,600		劣化による交換、競技者のけが防止
	デスクトップパソコン	198,000		PC(8年使用)故障による買い替え
	スポーツベンチ2台	98,000		腐食破損、修理不能による買い替え
	防球フェンスL型	52,000		腐食破損、修理不能による買い替え
	その他4件	148,798		
	合計	866,398	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		200,000		
差額		666,398		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	市と協議し、予算の範囲内で必要な対応とする。
----------------------	------------------------

	利用区分等(単位)	令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	市営野球場	13,613	13,180	103.3%
	市営運動場	10,941	9,012	121.4%
	市民体育館	20,474	14,192	144.3%
	市武道館	6,080	5,426	112.1%
	市営テニスコート	11,193	10,630	105.3%
	市弓道場	1,682	1,118	150.4%
	市篠井川河川敷運動広場	1,026	1,197	85.7%
	市コミュニティスポーツセンター	21,171	17,238	122.8%
	市屋内運動場	5,343	4,102	130.3%
	市営豊田テニスコート	252	277	91.0%
	市営豊田野球場	6,205	5,497	112.9%
	市営豊田マレットゴルフ場	242	345	70.1%
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%
	市B&G海洋センター	7,787	8,820	88.3%
	北公園	—	—	0.0%
	施設利用状況 合計	106,009	91,034	116.4%
施設 使用 回数 (回)	市営野球場	304	248	122.6%
	市営運動場	228	196	116.3%
	市民体育館	554	359	154.3%
	市武道館	402	294	136.7%
	市営テニスコート	1,976	1,623	121.7%
	市弓道場	753	715	105.3%
	市篠井川河川敷運動広場	60	61	98.4%
	市コミュニティスポーツセンター	1,670	1,404	118.9%
	市屋内運動場	407	288	141.3%
	市営豊田テニスコート	105	85	123.5%
	市営豊田野球場	121	120	100.8%
	市営豊田マレットゴルフ場	29	49	59.2%
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%
	市B&G海洋センター	654	710	92.1%
	北公園	—	—	0.0%
	施設利用回数 合計	7,263	6,152	118.1%
施設 利用 料金 (円)	市営野球場	1,840,965	1,418,800	129.8%
	市営運動場	846,600	646,250	131.0%
	市民体育館	836,000	585,450	142.8%
	市武道館	492,500	286,430	171.9%
	市営テニスコート	1,475,720	1,144,650	128.9%
	市弓道場	175,900	101,680	173.0%
	市篠井川河川敷運動広場	5,720	0	0.0%
	市コミュニティスポーツセンター	1,293,565	1,102,460	117.3%
	市屋内運動場	614,570	418,010	147.0%
	市営豊田テニスコート	71,250	81,570	87.3%
	市営豊田野球場	1,600	132,000	1.2%
	市営豊田マレットゴルフ場	600	200	300.0%
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%
	市B&G海洋センター	594,950	718,175	82.8%
	北公園	—	—	0.0%
	施設利用料金 合計	8,249,940	6,635,675	124.3%

3 事業の実施状況

区分	評価内容	市営野球場	市営運動場	市民体育館	市武道館	市営テニスコート	市弓道場	市篠井川河川敷運動広場	市コミュニティスポーツセンター	市屋内運動場	市営豊田テニスコート	市営豊田野球場	市営豊田マレットゴルフ場	市永田社会体育運動場	市B&G海洋センター	北公園	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	10	10	7	5	10	2	10	10	5	7	2	5	2	5	23.7
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	5	2	5	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	5	5	5	5	5	5	3	4	5	2	1	3	3	2	3	15.7
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	28.9
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	12.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	くらしと文化部文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市多目的サッカー場						
指定管理者	中野市体育協会	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)				
根拠法令	なし						
設置条例	中野市体育施設条例						
施設設置目的	市民体育の向上を図るため						
施設概要	サッカー場 管理棟37.2㎡、敷地面積19,162㎡						
施設の主な実施事業	貸館事業・指定管理者による自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	多目的サッカー場利用者数(人)		33,185	25,482	130.2%		
	多目的サッカー場利用回数(回)		750	690	108.7%		
	多目的サッカー場利用料金(円)		753,700	589,150	127.9%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>	指定管理料額	5,280,000	市収入額	753,000	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	6,201,543	5,660,000	<b>541,543</b>	6,262,205	5,494,393	<b>767,812</b>
	自主事業	140,000	140,000	<b>0</b>	194,780	194,780	<b>0</b>
合計	6,341,543	5,800,000	<b>541,543</b>	6,456,985	5,689,173	<b>767,812</b>	
職員の配置状況	事務局長:1名、事務局次長:1名、事務員:3名、施設管理員:1名《うち兼務6名》/パート:1名、合計7名 (常勤3名、非常勤3名、パート1名)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・年間の大会予約で事前調整がスムーズになり調整会議の負担が減った。	→	・連続で使用する場合の予約の調整や、大会等における施設利用方法など必要に応じて相談するなど対応している。
【苦情・改善の要望】 ①冬季閉鎖期間中の使用要望 7件 ②不法投棄ゴミの片付け ③小動物による運動靴持ち去り、ネット食いちぎり等の被害 3件 ④降雨時のサッカー場浸水 3件 ⑤設備の新設・更新要望 5件	→	①12月～2月の間冬季閉鎖。12月の降雪前まで許可しているがその後はグラウンドコンディション維持のため使用を許可していない。 ②確認後処理 ③小動物による被害多発。小動物が入らないよう網などの補強を行う。 ④場外への暗渠排水管が土壌改良剤と思われる石灰物質の固結化により閉塞。修繕対応。 ⑤実施可能なものを対応 2件

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	前年比30.2%増、新型コロナウイルスによる制限から団体活動が概ね回復してきたため。	27
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	2	・少年少女サッカー大会(121名)を開催したが、不足している。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	5	前年比27.9%増、新型コロナウイルスによる制限から団体活動が概ね回復してきたため。	17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4		30
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	利用者数は新型コロナウイルス感染症の流行前と同程度に回復すると思われる。自主事業が少ないので、積極的に取り組んでいただきたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	27 (50)	・感染対策を実施しながら、前年を上回る利用者があった。 ・効果的なイベント等の実施、自主事業にも積極的に取り組んでいただきたい。
(2) 財務の視点	17 (25)	
(3) 業務の視点	30 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	場外排水管修繕	115,500		排水管閉塞による修繕
	ナイター照明修繕	70,400		ランプ切れによる修繕
	電撃殺虫器ランプ取替工事	52,800		ランプ切れによる修繕
	合計	238,700	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差額		238,700		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	予算の範囲内で必要な対応とする。
----------------------	------------------

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	農業振興課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市農村環境改善センター帯の瀬ハイツ						
指定管理者	公益社団法人中野広域シルバー人材センター	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令	-						
設置条例	中野市農村環境改善センター条例						
施設設置目的	農業に従事する者並びに市民の相互理解と連携を図り地域農業や市民生活の向上に資するため。						
施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室、多目的ホール						
施設の主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業(帯の瀬の日、売店、帯の瀬ギャラリー写真館、土人形絵付け体験、健康教室、寺子屋 帯の瀬、鯉のぼり掲揚、ポッチャ講習会、生活支援プログラム、えびす講花火鑑賞会、開放市民の日)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	施設利用状況(延人数)			5,753	5,101	112.8%	
	施設利用日数(日)			263	214	122.9%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>		指定管理料額	10,356,000	市収入額	94,230
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	10,360,949	10,356,000	<b>4,949</b>	10,369,304	10,330,699	<b>38,605</b>
	自主事業	142,976	122,365	<b>20,611</b>	142,976	122,365	<b>20,611</b>
合計	10,503,925	10,478,365	<b>25,560</b>	10,512,280	10,453,064	<b>59,216</b>	
職員の配置状況	館長(兼務)1名、主任1名、就業会員3名、運転手1名 計6名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
<p>【良好とする評価】 皆さんに面倒を見て頂いて、本当に嬉しいです。 親切に対応して頂き、快適に過ごすことが出来て感謝です。 いつも丁寧に接して頂き、本当に気持ちが良いです。 これまでコロナで閉館・イベント中止だったが、また来ることが出来た。ありがとうございます。 浴室内の壁が明るく良い環境で気分上々です。</p>	→	高齢の利用者が多く、想定外の事故も予想されることから、快適に利用していただくためにコミュニケーションを取り、一層の配慮をしていく必要がある。
<p>【苦情・改善の要望】 部屋を暖かくして欲しい。 気軽に読める雑誌類があればよい。 入浴の時間に余裕が欲しい。</p>	→	暖房は、利用者の利用状況、利用時間等を把握して調整を行った。また、生活研修室の暖房機具の修繕を行った。 新聞や雑誌を農事相談室に設置している。 可能な時間の範囲内での入浴をお願いしている。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	7	新型コロナウイルス前の日常を取り戻しつつあり、利用者数、使用日数、団体数共に増加した。	36
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	利用者の意見を直接聞くとともに、利用者アンケートを常設し、対応可能なものは即対応した。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	アンケート結果から、89%の満足度(そのほか 悪い評価0%)があることから、対応・接遇は好評であった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	10	改善計画を基に、更なる利用啓発を図るため、新たな自主事業(ニュースポーツ・体験型講座・花火鑑賞会・開放市民の日)を実施し、117人の利用に繋げることが出来た。	50
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	5	予算を増額することなく、既存の指定管理料の範囲内で対応することができた。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		25
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	5	専門業者に委託して行う法定点検のほか、地下タンクの漏洩検査を自主的に毎月実施し、注視した。	35
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		45
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	利用者とのコミュニケーションを第一に運営できたことから、市からの対応改善指示はなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	5	主な利用者層が高齢者であるため、些細なことが原因で事故等に繋がってしまうことを理解し、管理運営を行えたことから、事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>36</b> (50)	令和4年度に新たな自主事業とした開催した生活健康支援プログラム(コーヒー・ピクルス・ジャム・キムチ講座)やニュースポーツ講座(ポッチャ)はコロナ禍での市民の生活変化・ニーズに合ったものであった。 指定管理期間の最終年度となる令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類の5類引き下げに伴い、社会経済活動が再開されることから、帯の瀬の日・健康教室・ニュースポーツ講習会・体験講座をメインとして自主事業に取り組み、幅広い年齢層に利用と利用者数(延人数6,000人台)を達成・確保されたい。 また、引き続き利用者が安心して利用できる施設づくりを行うため、紙の利用者アンケートのほか電子での利用者アンケート(Googleフォーム等)の実施や利用者とのコミュニケーションを図り、利用者の声を細かく拾い上げることで無事件・無事故をお願いしたい。
(2) 財務の視点	<b>17</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>35</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
年度評価	<b>B+</b>	
<b>良 好</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	誘導灯交換修繕	46,200	75,000	
	除雪機点検修理	48,576	75,000	
	ブレーカー修繕	12,760		故障のため
	生活研修室欄間修繕	55,000		防寒のため
	脱衣室天井板修理	15,500		破損のため
	合計	178,036	150,000	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差額		178,036		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	購入なし			
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	日々の施設管理については、主に老朽化による破損等が生じており、利用者アンケートに応えその都度修繕や改良している。
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	農業振興課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市豊田農産物加工施設						
指定管理者	中野市豊田農産物加工施設利用組合	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令	-						
設置条例	中野市豊田農産物加工施設条例						
施設設置目的	地域農業振興の向上に寄与することを目的として、農産物加工施設を設置する。						
施設概要	加工室、研修室、材料搬入室、材料庫、熟成室						
施設の主な実施事業	おやき・アップルパイ・味噌等加工品の製造販売、体験受け入れ						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	利用者数(おやき部)		871	832	104.7%		
	" (菓子部)		1,166	1,080	108.0%		
	" (みそ部(惣菜班分を含む))		449	428	104.9%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	3,457,178	3,100,000	357,178	3,867,143	3,441,300	425,843
	自主事業	91,200	91,200	0	91,200	91,200	0
合計	3,548,378	3,191,200	357,178	3,958,343	3,532,500	425,843	
職員の配置状況	組合長1名、副組合長2名(うち1名会計兼務)、理事11名(うち3名兼務)、監事2名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 味噌作り体験時にアンケートを実施し、参加者全員から「満足」と回答があった。 皆さん親切で楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。 子どもの頃の味噌作りを思い出し懐かしい気持ちになりました。ありがとうございました。 作り方が良く分かりました。	→	部員の減少により、令和5年度のみそ部は解散するものの味噌作り体験は受け入れしていく。
【苦情・改善の要望】 味噌作り体験以外にやしようま作り体験をしてみたいと希望があった。	→	令和5年度は、味噌作り体験に併せて、やしようま体験作りも受け入れしていく。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		25
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	4	計画比113%の収入があった。	16
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	ふるさと納税返礼品・NAGANOマルシェ・羽田基ショップを活用・利用し、売り上げ予算比約108%増加した。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	2	自主事業分が指定管理業務分に混在しているため、区分が明確でない。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		25
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	1	緊急連絡網の整備は行われているが、防災訓練が行われていない。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	1	責任者は決められているが、そのほかの体制が整えられていない。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	現在の組合の活動は、自主事業であることを認識してもらい、適切に区分するように指導する方針。
⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	緊急連絡網は整備されているが、防災訓練が行われていないため、実施されるように指導する方針。
⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	個人情報保護責任者は定められているが、そのほかの体制が整えられていないため、責任者の指示のもと体制整備されるように指導する方針。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	25 (50)	指定管理業務については、適正に実施されており、決算収支も黒字を確保しているが、経理区分が明確でないことや、防災訓練等が実施されていないため、改善をお願いしたい。 今後は、組合員の高齢化により、組合員が減少していくことが予想されることから、これまで築き上げてきた加工技術やブランドを絶やさないためにも、組合の中心を担うことができる人材の確保をお願いしたい。 味噌やおやき作りの体験事業は、郷土料理等との関りが薄くなっている若い世代への食育活動とも言える事業である。指定管理者の創意工夫により、令和5年度は農業者をはじめとした様々な利用者に利用してもらえるように、PRのうえ広く活動されたい。
(2) 財務の視点	16 (25)	
(3) 業務の視点	25 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B-	
<b>要改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	冷蔵・冷凍庫の保守点検及び修繕	138,600	220,000	
	合計	138,600	220,000	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差額		138,600		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	購入なし			
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	備品購入費等が不足する場合については、各部負担が50,000円を超える場合には、超えた額を本会会計が負担することとしている。
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	農業振興課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市南永江地区地域交流センター						
指定管理者	南永江自治会	指定期間	平成31年4月1日～令和5年3月31日				
根拠法令	-						
設置条例	中野市地域交流センター条例						
施設設置目的	地域材の啓発と利用拡大を図るほか、地域住民のコミュニティー活動の助長や交流の場として、地域交流センターを設置する。						
施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室						
施設の主な実施事業	貸館事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	会議室利用者数(人)			1,121	782	143.4%	
	学習室利用者数(人)			97	123	78.9%	
	研修室利用者数(人)			30	22	136.4%	
	調理実習室利用者数(人)			0	0	0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	384,000	384,000	0	281,765	281,765	0
	自主事業	0	0	0	0	0	0
合計	384,000	384,000	0	281,765	281,765	0	
職員の配置状況	南永江自治会役員						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
利用者に対し、アンケートの提出を求めていく。	→	利用者に対し、アンケートの提出を求めている。
経費削減に努めていくとともに、利用促進のチラシを配布するなどして、区民以外の者に利用を呼びかけていく。	→	公民館分館事業による活用を図るため、区民以外の者に利用を呼び掛けている。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 なし	→	利用者が地域住民に固定されていることから、アンケートの提出がなされていないが、感想・要望ノートを備え付けて利用者の声を拾い上げている。
【苦情・改善の要望】 学習室の引き戸の敷居レールが剥がれている。	→	要望の確認後、速やかに補修を実施した。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	利用者の増加により、昨年度比134%を達成できた。	26
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	1	自主事業は行っていない。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	1	利用料の収入は無かった。	11
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	1	利用につながっていない。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		29
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		11
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	2	研修は行われていない。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	感想・要望ノートを備え付けて利用者の声を拾い上げているが、引き続きアンケートの提出を求めていく必要がある。
① 計画どおり収入が得られたか	区民以外の者の利用が無いことから、利用料の収入がないため、区民以外の者に利用を呼び掛ける必要がある。
② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	区民以外の者に利用を呼び掛ける必要がある。
③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	地域住民以外の者をターゲットとした利用促進策など、クリエイティブな発想をする区民の育成が必要である。

6 総合評価及び所見

評価区分	(満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	26 (50)	新型コロナウイルス感染症拡大前の日常を取り戻し始め、利用者数が増加したことで、目標を達成できたことは評価したいが、利用者のニーズに合った自主事業が行なわれていないことなどから、区民以外の利用者の増加に繋がっていないことや職員研修が行われていないため、改善をお願いしたい。 現在、南永江地域の住民のコミュニティ活動や交流の場として、適切に管理運営されているが、住民以外の利用に繋がられていない状況である。引き続きのPRにより、利用拡大に努められたい。
(2) 財務の視点	11 (25)	
(3) 業務の視点	29 (45)	
(4) 人材の視点	11 (20)	
年度評価	B-	
<b>要改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合計	0	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差額		0		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	アクリル板	3,478	10,000	
	合計	3,478	10,000	
事業計画書に定める備品購入費の額		10,000		
差額		-6,522		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	商工観光課		評価対象年度	令和4年度	
施設名称	中野陣屋・県庁記念館						
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野陣屋・県庁記念館条例						
施設設置目的	歴史及び文化とのふれあいを通じ商業の振興を図る。						
施設概要	コミュニティールーム、常設展示室、資料展示室、会議室、土蔵資料館、カフェ						
施設の主な実施事業	管理運営事業、指定管理者による自主事業（喫茶事業、陣屋特別展、ミニギャラリー展示）						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	利用者数			31,186	21,257	146.7%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>		指定管理料額	9,550,648	市収入額	49,800
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	9,256,811	10,205,000	<b>-948,189</b>	9,263,285	9,635,511	<b>-372,226</b>
	自主事業	5,620,745	5,413,000	<b>207,745</b>	4,805,632	5,388,019	<b>-582,387</b>
合計	14,877,556	15,618,000	<b>-740,444</b>	14,068,917	15,023,530	<b>-954,613</b>	
職員の配置状況	館長:1名、嘱託職員:1名、臨時職員:2名 合計4名						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・清掃が行き届いていて気持ちが良い。 （床がきれいなので土足禁止かと思った。） ・親しみのある接客でよい。	→	・今後も来館されるお客様に喜んでもらえるような接客及び施設運営に努めたい。
【苦情・改善の要望】 ・特色のあるカフェメニューが欲しい。 ・本年度も三澤画伯の特別展を開催してほしい。	→	・季節の野菜をトッピングした焼きカレー等新メニューを考案した。 ・昨年に引き続き「もうひとつの三沢忠展」を開催した。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	街の活性化と賑わい創出を図るべく、貸館の充実及び助手事業を実施し、特別展では地元出身の洋画家「もうひとつの三澤忠展」を開催し、多くの集客があった。	34
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	展示、イベント等での要望に可能な限り対応した。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	展示を見て、喫茶も利用することを心掛けていた。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	自主事業について、目標値の85%であった。	14
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	2	新規のイベントも実施していたが、収入の増加にはつながらなかった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	税理士の指導を受け、適正に会計処理が行われている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3	適正に管理されている。	25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	清掃に関して、周辺道路も清掃することで施設以外の景観も向上させている。	34
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	改善指示はなく、運営状況は適切である。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	訓練実施、マニュアル等が整備されていた。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	運営状況が適切であったため、事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	受託者の個人情報保護規則に則り、適切に管理を行っている。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
計画どおり収入が得られたか	新型コロナウイルス感染症が収束していない状況であったため、完全な客足の回復ができておらず、やむを得ないと考えられる。 今後も、来館しやすい施設づくり、積極的なPRを実施し、来館者の増加を図り、収益を上げるように努めてもらいたい。
収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	新型コロナウイルス感染症が収束していない状況であったため、完全な客足の回復ができておらず、やむを得ないと考えられる。 新規のイベントに参加し、収益を増加するための取組みを行っていることなどから、今後も収益が増加するようなイベントを開催するなどし、収益の増加に努めてもらいたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>34</b> (50)	令和4年度も新型コロナウイルス感染症により、来館者が平常時に比べ減少している中で、新しいイベントへの参加(カレフェス)など、様々な取り組みにより3年度よりも来館者数は増加した。 ただし、自主事業については、完全な客足の回復ができておらず、目標とする収入が確保できていなかったため、次年度では収入が確保できるイベントを開催するなど、収益が上がる事業を実施する必要があると考える。 今後もアフターコロナを見越したサービス展開とPRを実施し、費用対効果を高めると良いと考える。
(2) 財務の視点	<b>14</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>34</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
年度評価	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	LEDベースライト取り替え	17,472		
	感知器取り替え	16,500		
	合計	33,972	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差額		33,972		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市観光会館・日本土人形資料館						
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市観光会館条例						
施設設置目的	中野土人形と全国の土人形の展示と絵付け体験の普及						
施設概要	鉄筋コンクリート造平屋建 展示室・体験室・茶室・会議室・トイレ・事務室・倉庫・前庭・駐車場						
施設の主な実施事業	土人形の展示と絵付け体験、管理運営事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	観覧者利用者数		4,434	2,611	169.8%		
	絵付け体験者数		1,161	817	142.1%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>	指定管理料額	8,023,888	市収入額	779,420	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	5,688,953	9,904,000	<b>-4,215,047</b>	5,689,894	8,963,224	<b>-3,273,330</b>
	自主事業	5,883,090	1,096,000	<b>4,787,090</b>	4,715,999	731,186	<b>3,984,813</b>
	合計	11,572,043	11,000,000	<b>572,043</b>	10,405,893	9,694,410	<b>711,483</b>
職員の配置状況	館長:1名、嘱託職員:1名、シルバー人材:1名 合計3名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・はじめて絵付け体験をしたが、思った以上に楽しかった。今度は子供を連れてきます。 ・小学校等の出張絵付け体験を実施し大変好評を得て、多くの児童から御礼の手紙をいただいた。	→	・今後も良好な意見をいただけるよう接客や運営に努めてまいります。 ・引き続き、実施していきたい。
【苦情・改善の要望】 ・開館中か閉館であることが分かりづらい ・観覧順が分かりづらい	→	・「開館、閉館日」の表札を刷新し、開館表札を新規作成した。 ・順路を設定し、各展示室に掲示した。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	大きく増加した	32
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	観光客を対象とした絵付け体験や出張絵付け体験のほか、新たに実施した取り組みで土人形の知名度向上につなげ、利用者の満足度が大きく向上している	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	1	自主事業について、目標値の60%であり、計画を大きく下回った	14
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	2	計画に近づけるべく取り組みをしたが、収入の増加にはつながらなかった	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	税理士の指導を受け、適正に会計処理が行われている	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	約2,000点の土びなをはじめ、備品について適正に管理されている	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		34
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	改善指示はなく、運営状況は適切である	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	緊急連絡体制をとっており速やかに対応できる体制が整っている。また、訓練実施、マニュアル等の整備がされている	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	5	事件・事故はなく、運営状況は適切である	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	受託者の個人情報保護規程に基づき、適切に管理を行っている。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
① 計画どおり収入が得られたか	新型コロナウイルスの影響がなかった平成30年度決算状況に戻すべく計画したが、イベントの開催等新型コロナウイルスが収束していなかったため、来館者は昨年度より増えたものの完全な客足の回復には至らなかった。今後も、積極的なPR、イベントの開催により、来館者の増加を図り、収益を上げるように努めてもらいたい。
② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	収入増加を図るべく、「ちいさな五福を集めよう」に参加して集客を促し、ある程度は成果があったが、通年では完全な客足の回復ができなかった。今後も、積極的なイベントの開催、PRにより、来館者の増加及び収益を上げるように努めてもらいたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>32</b> (50)	昨年度に引き続き、コロナ禍であったが、新たな取り組みの実施及び努力の成果で利用者の増加に結びついた。 しかし、自主事業に対して目標とする収入にはつながらなかったため、次年度では観光バスでの誘客等のイベントを開催するなど、収入が確保できる事業の展開が必要である と考える。 また、費用対効果を見据えた「土人形の里」としてのPR、観光客を対象とした絵付け体験を通し、土人形の普及を図り、更なる入館者の増加に結びつけると良いと考える。
(2) 財務の視点	<b>14</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>34</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
<b>年度評価</b>	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	自動ドア修繕	86,000	0	制御ユニット故障
	街灯修繕	27,000	0	分電盤内タイマー故障
	車検修理	52,850	60,000	
	合計	165,850	60,000	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差額		165,850		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	商工観光課		評価対象年度	令和4年度	
施設名称	信州中野観光センター						
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市観光特産条例						
施設設置目的	管理運営事業・自主事業(アンテナショップ事業、売店事業、イベント事業)						
施設概要	鉄筋造平屋建 ホール、事務室、トイレ、倉庫、駐車場						
施設の主な実施事業	管理運営事業・自主事業(アンテナショップ事業、売店事業、イベント事業)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	利用者数			24,424	19,351	126.2%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>		指定管理料額	9,732,962	市収入額	0
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	5,743,025	12,108,000	<b>-6,364,975</b>	5,743,035	9,167,295	<b>-3,424,260</b>
	自主事業	14,455,000	12,080,000	<b>2,375,000</b>	17,391,853	17,709,849	<b>-317,996</b>
合計	20,198,025	24,188,000	<b>-3,989,975</b>	23,134,888	26,877,144	<b>-3,742,256</b>	
職員の配置状況	館長:1名、嘱託職員:1名、臨時職員:2名 合計4名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・善光寺御開帳記念企画開催した、市内施設を巡って土人形を集めるスタンプラリー「ちいさな土人形を集めよう」の福だるまを飾るケース販売の要望多数あり	→	・福だるま6種コンプリート者向けに、全種類が入るサイズのケースを手配し、販売提供した
【苦情・改善の要望】 ・駐車場が舗装破損している	→	・修復対応

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	前年度より126%増加した	34
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	市内観光施設を巡って土人形を集めるスタンプラリーイベント用のオリジナルミニ土人形「福だるま」をデザイン制作をきっかけに、季節や行事ごとにデザインを変えることで、土人形の知名度向上につなげ、利用者の満足度が大きく向上している	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	市内観光施設を巡って土人形を集めるスタンプラリーイベント用にオリジナルミニ土人形を制作。さらに、イベント期間中に軍事侵攻を受けるウクライナを支援するウクライナカラーの同土人形をデザイン制作、売上げの一部を寄付したことでメディアに取り上げられるなど、当市の知名度向上に努めた。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	5	自主事業について、目標値の120%であった。	18
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	首都圏で特産品販売に向くなど、積極的な取組みが収入の増加につながった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3	税理士の指導を受け、適正に会計処理が行われている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		30
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3	緊急連絡体制をとっており速やかに対応できる体制が整っている。また、訓練実施、マニュアル等の整備がされている	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3	改善指示はなく、運営状況は適切である	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3	訓練実施、マニュアル等が整備されていた。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故はなく、運営状況は適切である	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3	受託者の個人情報保護規程に基づき、適切に管理を行っている。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>34</b> (50)	指定管理業務、自主事業ともに適切かつ柔軟に対応していた。 特に自主事業においては、首都圏への特産品販売に積極的に出向いたり、善光寺御開帳記念企画として実施した市内観光施設を巡るスタンプラリーイベント「ちいさな土人形を集めよう」でデザインしたオリジナル土人形の福だるまが予想以上に話題となり、施設に大勢の人が訪れ、また職員は福だるまの制作に真摯に取り組み、当市知名度向上への貢献をした。
(2) 財務の視点	<b>18</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>30</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
年度評価	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	非常誘導灯ランプ取り換え	9,000		
	男子トイレウオシュレット交換	90,800		
	合計	99,800	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差額		99,800		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市晋平の里間山温泉公園						
指定管理者	株式会社 リープクリエイティブス	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令							
設置条例	中野市間山温泉公園条例						
施設設置目的	市民のふれあいと健康の増進及び観光の振興を図るため。						
施設概要	温泉施設(ぼんぼこの湯)、機械室、駐車場、マレットゴルフ場(18ホール)、クラブハウス、ログコテージ(2棟)						
施設の主な実施事業	施設運営管理、自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	ぼんぼこの湯利用者数(人)		75,132	64,531	116.4%		
	マレットゴルフ場利用者数(人)		33	18	183.3%		
	コテージ利用者数(人)		945	683	138.4%		
	キャンプ場・サウナ利用者数(人)		1,160	280	414.3%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	30,000,000	36,000,000	-6,000,000	37,402,280	38,480,651	-1,078,371
	自主事業	35,000,000	43,545,000	-8,545,000	35,535,481	42,081,628	-6,546,147
合計	65,000,000	79,545,000	-14,545,000	72,937,761	80,562,279	-7,624,518	
職員の配置状況	施設長兼防火管理者1名、フロント1名、清掃員2名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・数年ぶりに来たが、綺麗になっていて驚いた ・食事が美味しかった ・キャンプ場がとても良かった	→	・新しくなったことを積極的にPRしていく ・常に改善を重ねていく ・さらにいい施設になるよう改善を重ねていく
【苦情・改善の要望】 ・浴室の鏡が汚い ・湯船の中の髪の毛や垢が気になる ・マナー違反の利用者がいる	→	・大規模修繕の際に交換を市に依頼 ・表面部分の垢や髪の毛を除去する装置を設置予定 ・マナーアップを呼びかける

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	7	昨年度に比べて利用者が約1万人増加した。	36
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	利用者のニーズに合わせた事業を展開し、利用者の増加となった。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	問題なく行っている。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	10	アウトドア事業(キャンプ場・屋外サウナ)等、利用者のニーズに合った自主事業を積極的に実施した。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	4	計画比112%の収入を得られた。	16
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	アウトドア需要に適した自主事業の相乗効果によって、利用者数の大幅増加し、収入増となった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	2	指定管理業務と自主事業の経理区分ができていない。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		30
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	速やかに対応できた。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3	個人情報保護の措置に関して、管理体制が整っている。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4	適切に配置できている。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	コンプライアンス研修、接客マナー研修を実施した。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
④ 指定管理業務と自主事業の 経理区分が明確で適切に管理 されているか	昨年度も指導した経理区分に関して改善ができていないため、引き続き指導する。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>36</b> (50)	昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響下での管理・運営となったが、アウトドア 需要に適した自主事業を積極的に展開し(設備投資を含む)、利用者数及び収入の増加 となっていることは非常に評価する。経理区分については、相談等に応じながら明確に 区分するように努めてもらう。アンケートでの衛生面の意見は、ハード面が起因している 点も大きいので、相互に検討・改良していきたい。
(2) 財務の視点	<b>16</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>30</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>14</b> (20)	
年度評価	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	給湯管漏水修理代	47,500		設備老朽化
	吸収冷温器部品交換	90,000		設備老朽化
	浴槽用補給ポンプ交換	94,500		設備老朽化
	給湯管破損修理	95,000		設備老朽化
	トイレ・シャワー配管修理・交換	112,255		設備老朽化
	水道管凍結修理	30,000		設備老朽化
	脱衣所女子トイレつまり修理 他	3,009,745		設備老朽化
	合計	3,479,000	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1	1,000,000			
差額	2,479,000			

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額	0			

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野地域職業訓練センター						
指定管理者	職業訓練法人中高職業訓練協会	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市地域職業訓練センター条例						
施設設置目的	地域における労働者、求職者等に対し各種職業訓練を行い、職業の安定と労働者の地位向上を図るため						
施設概要	鉄筋コンクリート造2階建【教室棟(第1～5研修室、多目的ホール、視聴覚室、事務室、調理室、和洋室、トイレ、倉庫)、実習棟(実技室、研修室、実習室、トイレ)、駐車場】						
施設の主な実施事業	施設の管理業務、自主事業(職業能力開発校ほか)						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	認定訓練		2,792	2,927	95.4%		
	公共職業訓練		3,182	2,877	110.6%		
	研修、講習会等		11,290	11,136	101.4%		
	その他(会議、展示会等)		7,647	7,401	103.3%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	6,240,000	6,240,000	0	6,796,396	6,796,396	0
	自主事業	36,000,000	36,000,000	0	35,508,315	35,508,315	0
合計	42,240,000	42,240,000	0	42,304,711	42,304,711	0	
職員の配置状況	所長(管理責任者)兼防火管理者 1名、常勤職員 2名 合計3名 (中高職業訓練協会 職員3名のうち3名)						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 施設は綺麗で使用に特段の問題がない	→	定期的なメンテナンス(清掃業者による清掃やワックス)にて継続的に維持
【苦情・改善の要望】 昼食がとれるようなスペースがあるといい	→	新型コロナウイルス感染症対応にて基本的には館内飲食を禁止(終日を通しての講座など一部においては各研修室で飲食可とする)

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	前年に比べて増加した。	31
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	利用者からの声を踏まえたパソコンのスキルアップを図る講座を開催するなどし、満足度を高める取り組みを積極的に行った。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	クレームに至らないよう窓口における丁寧な対応を心掛けるとともにホームページ等での小まめな情報発信を行った。また、駐車場の混雑が予想される場合は誘導を行い、事故防止は元より利用者満足度を高めた。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	パソコン講座等を修了した者をITフリーランスとして養成し、請け負う業務を着実に増やした。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	新型コロナウイルスによる各研修室の定員制限が想定よりも長引いたこともあり、計画に対しては微減となった。	16
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	5	水銀灯からLEDへの交換に際し、業者との調整を重ね、当初の見込みよりも大幅に低コストな方法で問題なく代替した。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	実施及び法令遵守が徹底されている。	36
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	4	常に余裕を持って対応しており、補足資料等も速やかに提出され、評価に値する。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	入口にディスプレイを設置し、研修室の案内等、利用者目線で必要な情報をこれまで以上にタイムリーかつ分かりやすく提供できるようにした。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	改善指示がなかったことは元より、新型コロナ関連等で懸念が生じた際は自発的かつ速やかに相談があり、適切なタイミングに必要な対応をとれた。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	5	駐車場の混雑が予想される場合は職員による誘導を行うなどし、事故防止を図った。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	・管理簿や取扱規定を設け、運用した。 ・マイナンバーについては、専用フォルダによる管理をした。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4	事務長が国家資格のキャリアコンサルタントであり、これまで以上にきめ細かい相談業務を行える体制にある。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	年度途中、職員の交代(定年退職)による業務への支障が懸念されたが、適切な引継ぎがなされ、業務への支障はなかった。また、求職者支援に係るスキルアップ研修や関連セミナー等を積極的に受講した。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
① 計画どおり収入が得られたか	新型コロナによる各研修室の定員制限が想定よりも長引いたこともあり、収入が計画に対して微減となった。定員制限を解いたことから、今後は問題ないものと考えられる。また、次年度からは、これまでやっていなかった訓練を実施することとしており、新たな利用者層が開拓され、結果として収益の向上に繋がる見込みである。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>31</b> (50)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用状況に大きな影響を与える公共職業訓練(3ヶ月訓練)をはじめ、多くの講座を企画、実施し、公共職業訓練については2コースの受講者が増加した。また、女性のための就職支援セミナー&amp;パソコン講座も受講者が増加し、自主事業で企画した講座での利用者も軒並み増加した。</li> <li>・ 全体利用者数は増えたものの、新型コロナによる各研修室の定員制限が想定よりも長引いたこともあり、収入が計画に対して微減とはなったが、パソコン講座に再就職応援プラン盛り込むなど、毎年新しい取り組みを進めており、それが収益の向上に繋がり得ることから、評価に値する。</li> <li>・ キャリアコンサルタントによるキャリアコンサルティングが生きる事業をこれまで以上に注力することで、利用者の増加や満足度向上が見込める。</li> </ul>
(2) 財務の視点	<b>16</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>36</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>14</b> (20)	
<b>年度評価</b>	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	ブラインド交換	323,000	323,000	
	水銀灯のLED化	66,000	500,000	工事のみ(LEDは消耗品に計上)
	多目的ホール卓上放送アンブ	301,400	177,000	急な故障による
	合計	690,400	1,000,000	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		1,000,000		
差額		-309,600		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	バンドソー	528,000	528,000	
	合計	528,000	528,000	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		528,000		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	施設設置から20年以上経過しており、老朽化、機器の故障による修繕費の増加が見込まれる。
----------------------	---

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市まちなか交流の家						
指定管理者	なつちよ合同会社	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市まちなか交流の家条例						
施設設置目的	土人形の振興を通じて市街地の活性化に資するため、まちなか交流の家を設置する						
施設概要	体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、倉庫						
施設の主な実施事業	施設の管理運営、土人形の絵付け指導、指定管理者による自主事業(施設内絵付け体験事業、出張絵付け体験事業、土人形制作販売及び付随品の販売、中野土人形販売)						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	来館者数(人)		1,039	952	109.1%		
	絵付け体験者数(人)		1,653	1,342	123.2%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>	指定管理料額	8,738,480	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	8,738,480	8,738,480	0	8,738,480	8,884,301	-145,821
	自主事業	1,575,000	1,560,000	15,000	2,467,731	2,493,232	-25,501
合計	10,313,480	10,298,480	15,000	11,206,211	11,377,533	-171,322	
職員の配置状況	職員:3名 他に施設長1名(非常勤)、副施設長1名(非常勤・R5/1～)、防火管理者1名(非常勤)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 子どもがとても楽しく参加させてもらいました。また来たいです。たくさんの種類の土人形があって楽しかったです。長野県にまた来たなら行きたいです。初めての絵付け体験だったけど、いいのができてよかったです。いつも楽しませていただいています。ありがとうございます。今度は孫と来たいです。	→	今後とも来館者に楽しんでいただくことを第一に考え、引き続き対応していく
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		34
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	10	利用者アンケートによる満足度は100%であり、創作土人形の作製の他、小学校のクラブ活動などへの出張絵付け体験や、奈良家の指導を受け技術向上を図った	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	苦情はなく、楽しんでいただくことを第一に考え運営できた	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	積極的な出張絵付け体験をはじめ、様々な企画によりメディアに取り上げられるなど、土人形を通じた交流が生まれたとともに普及、知名度向上に努めた	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	自宅でも気軽に絵付け体験ができる「絵具セット」販売をするなどの取組みによる効果があった	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	関係法令に従い顧問税理士の指導を受け、適正に会計処理が行われている	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		33
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	改善指示はなく、運営状況は適切である	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	防犯カメラの使用や避難訓練の実施により、緊急時の職員との連絡調整が構築できている	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故はなく、運営状況は適切である	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	中野市個人情報保護条例を遵守し、適切にデータ管理を行っている	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>34</b> (50)	目的としている土人形の振興のため、積極的な出張絵付け体験の成果もあり、昨年度より大幅に体験者数が増加した。 今後も、まちなか交流を通じて市街地の活性化につなげるべく、さらなる自主事業の拡大や効果的なイベント等の実施、PRにより、来館者の増加、また絵付け体験者が増加することを期待する。
(2) 財務の視点	<b>17</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>33</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
年度評価	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	1階北側網戸	14,740	20,000	
	2階シーリングライト交換	30,998	30,000	
	合計	45,738	50,000	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差額		45,738		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	バーコードリーダー	40,480	50,000	
	合計	40,480	50,000	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		40,480		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	商工観光課		評価対象年度	令和4年度	
施設名称	中野市関係人口創出拠点施設						
指定管理者	中野市リビングギフト促進共同事業体 代表者 株式会社 リーフクリエイティブス		指定期間	令和3年10月1日～令和7年3月31日			
根拠法令							
設置条例	中野市関係人口創出拠点施設条例						
施設設置目的	関係人口の創出・拡大を通して地域社会の活性化に資すること。						
施設概要	交流スペース、コワーキングスペース・レンタルオフィス、多目的ルーム(宿泊、オフィス利用)						
施設の主な実施事業	貸しスペース事業・飲食店運営事業、宿泊事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	チャレンジショップ・フリースペース利用者数 (人)			4,335	3,259	133.0%	
	宿泊者利用数 (人)			721	193	373.6%	
	コワーキング・レンタルオフィス利用者 (人)			22	11	200.0%	
			令和3年度、開館は10月から。			0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	1,760,000	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	3,916,324	5,760,000	-1,843,676	5,803,068	4,102,988	1,700,080
	自主事業	3,369,431	2,900,000	469,431	2,350,743	971,373	1,379,370
合計	7,285,755	8,660,000	-1,374,245	8,153,811	5,074,361	3,079,450	
職員の配置状況	責任者1名、清掃員1名 計2名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
(2)財務の視点 施設の利用向上については、SNSによる発信を強化するなど顧客の属性、ターゲットに合わせた広告宣伝を展開する。	→	自主事業の実施に関するInstagram更新を16回(前年度6回)実施し、チャレンジショップ・フリースペース利用者数が前年度比133%となった。
(3)業務の視点 事務処理の計画的な実施については、関係スタッフの連携を密にし、施設所管課への業務報告に遅延が生じないように努める。	→	毎月の業務報告書は翌月15日までに、年度報告書は事業年度終了後30日以内に市へ遅滞なく提出した。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・チャレンジショップにいろいろな出店者がいて毎回楽しみです。 ・清潔で綺麗な客室だった	→	・今後もいろいろな出店者・企画を開催していきたい ・今後も清掃や維持管理を徹底していきたい
【苦情・改善の要望】 ・駐車場の位置がわかりづらい ・セルフチェックインがわかりにくい	→	・専用のマップを制作し配布・看板の設置を検討 ・よりわかりやすくするための掲示物を充実させる

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	施設全体で前年比147%増であった。	40
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	10	利用満足度アンケート目標値80%に対し95%であった。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	10	定期的に自主事業を実施し、利用者数の増とリピーターを獲得できた。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	4	計画比112%の収入であった	18
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	オンライン旅行代理店への掲載を継続し、宿泊者数増の効果があった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	指定管理業務と自主事業の経理区分が適切かつ明確に区分されている	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		30
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>40</b> (50)	指定管理業務、自主事業ともに施設利用者に対して適切かつ柔軟に対応していた。特に自主事業においては、飲食業を中心としたチャレンジショップを随時実施するなど施設の利用促進、地域活性化に資する活動に取り組んでいた。 コロナ禍という悪条件ではあったが、施設利用者数の目標値を達成した点も評価できる。 交流スペースの更なる利用促進とワーキングの利用者増の対策を図られたい。
(2) 財務の視点	<b>18</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>30</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
年度評価	<b>B+</b>	
<b>良 好</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	エアコン修繕	19,800	0	ゲストルーム1Aのエアコンファン破損に伴うもの
	合計	19,800	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		300,000		
差額		-280,200		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	購入なし			
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		300,000		
差額		-300,000		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	上限額を超える場合は、基本協定書に基づき対応する。
----------------------	---------------------------

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市豊田温泉公園						
指定管理者	株式会社 ユアーズ静岡	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令							
設置条例	中野市豊田温泉公園条例						
施設設置目的	市民の福祉と健康増進に寄与するとともに地域活性化を目的とする。						
施設概要	日帰り温泉、食堂、売店、休憩コーナー、ゲートボール場						
施設の主な実施事業	施設の管理運営、自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	もみじ荘利用者数(人)		42,986	22,374	192.1%		
	ゲートボール場利用者数(人)		2,594	1,314	197.4%		
	令和3年度、施設改修のため半年閉館。				0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	356,482	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	29,626,882	26,558,408	3,068,474	21,591,892	24,470,237	-2,878,345
	自主事業	11,348,000	15,087,732	-3,739,732	8,698,537	13,338,685	-4,640,148
合計	40,974,882	41,646,140	-671,258	30,290,429	37,808,922	-7,518,493	
職員の配置状況	・令和4年4月～令和5年1月:支配人兼料理長1名、フロアマネージャー1名、受付・施設管理2名 ・令和5年2月～令和5年3月:フロアマネージャー1名、受付・施設管理2名 ※全員がマルチワーク化により、すべての業務をこなすことができる。						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・お風呂の温度、熱くてとても温まり、気持ちが良い。	→	・湯温については、時間帯で常にチェックを行い、その日の気温・天候により調整が出来るように心掛ける。 ・また清掃についても、スタッフ全員が気づいたときに率先して行なう。
【苦情・改善の要望】 ・露天風呂が小さい。 ・サウナ専用のシャワーが欲しい。 ・下足ロッカーが小さくて使いづらい。 ・食事メニューで蕎麦を復活して欲しい。 ・以前の和食メニューを取り入れて欲しい。	→	・露天風呂/シャワーについては、限られた敷地面積の中で設置している旨を説明して、納得していただく。 ・下足ロッカーについては、大勢の人に利用していただくよう最大限の数を用意しました。 ・食事メニューにつきましては、お客様の声があまりに多い為、社内で一度検討致します。◆蕎麦:12月17日より販売開始、和食メニュー:令和5年3月16日より販売開始。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10		30
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	計画収入比約74%であった。	17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	スタッフのマルチワーク化を推進することで人件費の削減を行っている。(R3: 11名→R4: 9名)	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	ダブルチェックのもと経理の確認がなされている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	自社管理の備品にはシールを貼付し、区別している。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		33
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	4	コンプライアンス及び接客マナー研修を実施している。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	指示があった際には、速やかに対応した。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	緊急連絡網及び温浴施設地震火災害マニュアル類を完備している。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故が発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	2	支配人がいない時期が発生した。	12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	食品衛生管理等の研修を実施した。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
① 計画どおり収入が得られたか	自主事業の実施回数を増やし、相乗効果による利用者増及び客単価向上を図るよう指導していく。
① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	基本協定上の記載事項を遵守するように指導していく。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>30</b> (50)	本年度も新型コロナウイルス感染症の影響下で厳しい状況での施設運営となったが、その中でも利用者からの声を反映し、食堂メニューの改善等の経営努力が見られた。また、レジオネラ属菌の発生もなく、浴槽清掃及び設備清掃等、衛生管理が徹底されている。積極的に自主事業の実施を試みるように指導していき、赤字解消を期待したい。
(2) 財務の視点	<b>17</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>33</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
<b>年度評価</b>	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	マイクロバス修理	57,241	480,000	
	合計	57,241	480,000	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		1,030,000		
差額		-972,759		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	事務用品(ホワイトボードマーカー)	882	0	必要が生じたため。
	合計	882	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		0		
差額		882		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市斑尾高原体験交流施設						
指定管理者	株式会社 斑尾	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令							
設置条例	中野市斑尾高原体験交流施設条例						
施設設置目的	市民の福祉と健康増進に寄与するとともに地域活性化を目的とした体験交流施設を設置する。						
施設概要	温泉、食堂、売店、キャンプ場、マレットゴルフ場、休憩コーナー						
施設の主な実施事業	施設運営、指定管理者による自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	まだらおの湯利用者数(人)		51,217	52,189	98.1%		
	キャビンハウス利用者数(人)		1,009	983	102.6%		
	キャンプ場利用者数(人)		287	240	119.6%		
	マレットゴルフ場利用者数(人)		50	66	75.8%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	21,600,000	21,550,000	50,000	24,786,353	24,206,746	579,607
	自主事業	30,077,000	36,844,000	-6,767,000	30,062,514	35,594,949	-5,532,435
合計	51,677,000	58,394,000	-6,717,000	54,848,867	59,801,695	-4,952,828	
職員の配置状況	支配人兼防火管理者1名、受付庶務3名、施設係2名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
1. 施設管理の徹底(通常のサービスが受けられるように雑草、立ち木除去など行う)	→	キャンプ場・マレットゴルフ場の草刈り、芝刈り、立木伐採を行い、サービスを供する上での環境整備をした。
2. インスタグラムでの宣伝(施設、イベント、料理など知っていたく)	→	料理や施設等に関する宣伝活動をした。
3. キャンプ場及びキャビンハウスにアウトドア用照明増設(利用者の増加と防犯も含め)	→	キャンプ場・マレットゴルフ場にアウトドア用の照明を設置し、サービス向上に努めた。キャンプ場利用者は前年度比約1.2倍増となった。
4. 特別メニューの開発	→	宿泊者を対象とした食事メニュー割引、入浴券とソフトクリームのセット販売、入浴券とそばのセット販売を実施し、食堂利用者数前年度比約1.1倍の増となった。
5. 手打ちそばの返礼品の開発(ふるさと納税の返礼品として検討中)	→	検討に終わり、未実施。
6. 替わり風呂の実施(菖蒲、りんごなど)	→	替わり風呂として、菖蒲湯(1回)・ひのき風呂(3回)を実施した。菖蒲湯実施日において、入湯者数昨年同日比約1.1倍の増。ひのき風呂1回目前年同日比約1.1倍増、2回目約1.2倍増であった。3回目は0.6倍の減少となった。
7. 割引券付きの折込みチラシ配布予定(中野市、飯山市、信濃町、豊野地区に検討中)	→	サマーキャンペーン(R4.8.17～R4.9.16)と題して割引券付きの折込みチラシを配布し、前年同期比1.2倍の集客となった。
8. 来店者対象のくじ引きの開催を検討中	→	検討に終わり、未実施。

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・料理おいしい	→	・手作り料理を増やし、提供している。
【苦情・改善の要望】 ・利用者のマナー等に対する苦情 ・料理の提供が遅い	→	・従業員がマナー違反を確認次第、注意し対応をしている。 ・社員教育(料理長、主任を中心に経営目標やマネージメントについて実施)。提供スピードを上げる為、そばの薬味や福神漬、紅生姜などセルフに変更している。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		31
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	アンケートを実施し、反映させている。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	適切に対応している。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	飲食のセット販売等を行い、施設利用の促進を図った。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		14
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	2	指定管理業務と自主事業の経理区分ができていない。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		32
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	4	避難訓練、通報訓練、消火訓練、AED訓練を実施した。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	指示があった場合には、速やかに対応できた。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	適切に対応できている。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	年3回の人事考課を実施している。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	4	労使協定を締結及び労働時間の管理徹底をしている。	
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	経費区分が困難なものもあるかと思うが、可能な限り区分するように指導していく。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>31</b> (50)	レジオネラ属菌の発生もなく、浴槽清掃及び設備清掃等、衛生管理が徹底されている。客単価が向上する自主事業の試みに期待する。経理区分を明確にするように指導していく。
(2) 財務の視点	<b>14</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>32</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>14</b> (20)	
年度評価	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
修繕費 (円)	ボイラー室内の修繕合計(6ヶ所)	207,000	0	正常な稼働の為
	源泉ポンプ場制御盤点検	9,000	0	正常な稼働の為
	男子露天風呂出入口ドア修理	12,300	0	正常な稼働の為
	キャビンハウス修繕合計(3ヶ所)	645,025	0	正常な稼働の為
	キャンプ場電源盤修理	37,000	0	正常な稼働の為
	キャンプ場街灯交換	62,000	0	正常な稼働の為
	消防設備不良個所修繕	42,000	0	正常な稼働の為
	合計	1,014,325	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		1,000,000		
差額		14,325		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
備品 購入費 (円)				
	合計		0	0
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額			0	

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	・社長決裁を基本に経営の許す範囲で購入等実施。
----------------------	-------------------------

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	中野市豊田ふるさと交流館						
指定管理者	株式会社 斑尾	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令							
設置条例	中野市豊田ふるさと交流館条例						
施設設置目的	市民の世代間、地域づくり団体等の交流の中核施設として活用を図り、都市住民との交流の促進及び文化及び経済の向上を目指し、地域社会の活性化に資することを目的として、交流館を設置する。						
施設概要	道の駅、交流館、特産品販売コーナー、農産物直売所						
施設の主な実施事業	道の駅、交流館、特産品販売コーナー、農産物直売所、食堂（レジ及び食券機カウント数）						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	食堂客数(人)		50,102	35,305	141.9%		
	売店客数(人)		38,986	26,907	144.9%		
	農産物直売所客数(人)		89,851	76,579	117.3%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	3,167,588	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	3,167,588	3,167,588	0	5,150,588	4,334,058	816,530
	自主事業	153,537,584	125,936,390	27,601,194	120,689,178	120,251,925	437,253
	合計	156,705,172	129,103,978	27,601,194	125,839,766	124,585,983	1,253,783
職員の配置状況	支配人1名、受付庶務1名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・毎年おいしいと言う意見が多く頂いております(主にそば、天ぷらなどの料理)・コスバがすごい・接客対応が良い・元気があって良い	→	社員教育(料理長、主任を中心に経営目標やマネージメントについて実施)
【苦情・改善の要望】 ・接客が忙しそう、提供が遅い、時間がかかりすぎ	→	提供スピード、回転率向上の為、食堂セルフサービスの取り入れ(そばの薬味類、紅生姜、福神漬け等)

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	増加となっている。目標値も上回った。	30
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	アンケート実施により、サービスの向上に努めた。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	迅速・適正に行った。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	自主事業において、計画比約79%であった。	16
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	5	税理士に指導を受けている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	5	法令を遵守し、法定点検等実施した。	35
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	5	避難訓練、通報訓練、消火訓練、AED訓練を実施した。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	指示があった際には、速やかに対応した。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	適切に対応している。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		15
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	年3回の人事考課の実施をしている。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	4	労使協定を締結及び労働時間の管理徹底をしている。	
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
① 計画どおり収入が得られたか	イベント等の開催実施を図り、増収につなげるよう指導していく。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>30</b> (50)	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響下でも黒字運営となっているが、自主事業の計画収入は未達であった。イベント等の積極的な開催を図り、他事業への相乗効果を期待する。それに伴い、必要に応じて指導を行っていきたい。
(2) 財務の視点	<b>16</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>35</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>15</b> (20)	
<b>年度評価</b>	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	水道工事費	51,555	90,910	正常な稼働の為
	合計	51,555	90,910	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1	1,100,000			
差額	-1,048,445			

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額	0			

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	建設水道部 都市計画課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	一本木公園ほか2施設						
指定管理者	一般社団法人 一本木公園パラの会	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)				
根拠法令	都市公園法						
設置条例	中野市都市公園条例、中野市一本木公園施設条例						
施設設置目的	公共の福祉の増進に資するため						
施設概要	一本木公園:多目的広場、修景広場、野外ステージ、遊戯広場、林間プロムナード、あずまや(全体面積:3.4ha) 一本木公園展示館、一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム						
施設の主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	(総計)		23,993	3,778	635.1%		
	一本木公園展示館来館者数(人)		11,719	1,216	963.7%		
	一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム来館者数(人)		12,274	2,562	479.1%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>		指定管理料額	31,100,000	市収入額	27,235
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	33,552,767	31,350,000	<b>2,202,767</b>	33,462,200	31,435,080	<b>2,027,120</b>
	自主事業	2,932,589	900,000	<b>2,032,589</b>	5,041,378	3,623,200	<b>1,418,178</b>
合計	36,485,356	32,250,000	<b>4,235,356</b>	38,503,578	35,058,280	<b>3,445,298</b>	
職員の配置状況	事務局員3名、管理作業員13名 計16名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・バラが咲き香るいい公園だと思いました。 ・ダリアがみごとだった。 ・レベルが高くなりましたね。中野市も立派！よくぞ、みなさんの、素晴らしい絵でした。	→	日々、バラの生育と除草、ダリアをはじめとする季節の草花の植栽、公園美化に、会員、職員一丸となって努めている。展示は地域団体や近隣学芸員等を介した現代美術作家とのネットワークにより、実績を増やしている。今後もバラ管理と四季折々の植栽演出と魅力的な展示で来園者、来館者増を目指したい。
【苦情・改善の要望】 建物内の照明が暗い。特にトイレ。	→	展示館エントランスはガラスにスモークフィルムを貼っているため、天井照明を全部点灯しても暗さを感じる。スモークフィルムの撤去をかつて文化スポーツ振興課に相談したが、展示作品保護のため、撤去は難しいとの返答だった。トイレの照明の照度の感じ方には個人差があるため、今後照明器具の更新時に検討したい。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	コロナ禍の規制が緩和され、バラまつりやイベント、展示企画が徐々に以前のように開催できるようになり、利用者が前年度より急増した。	34
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	アンケート結果から、利用者満足度が向上したと判断する。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	通年に渡り、四季折々に適したイベントを開催した。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	5	自主事業等に関し、計画比311%の収入を得られた。	21
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	コロナ禍であったが、感染対策を十分に行い、積極的に自主事業を開催し、収入増につなげた。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	職員の配置の見直しにより人件費の削減ができた。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	5	税理士の指導を受け、適正に会計処理を行った。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		31
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	期待以上の管理がされており、市からの改善指導等がなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	期待以上の保全対策がされており、事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>34</b> (50)	世界的な情勢不安に伴い、電気料、燃料費等の需用費が増す中、人件費を削減することで、健全な運営に努めたことを評価する。また、コロナ禍において、例年に近い規模の自主事業を開催し、大幅に来園者数が回復した。
(2) 財務の視点	<b>21</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>31</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
<b>年度評価</b>	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	野外ステージ電源ボックス	27,500		経年劣化による破損のため
	トイレ照明器具取替	44,000		突風による破損のため
	ベンチ板取替	8,800		経年劣化による破損のため
	展示館トイレセンサー及び漏水修理	142,340		経年劣化及び凍結による破損のため
	バラ棚修繕	91,025		経年劣化による破損のため
	ミュージアムカーテンレール修繕	41,800		経年劣化による破損のため
	ミュージアム防火扉修繕	33,000		経年劣化による破損のため
	合計	388,465	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		300,000		
差 額		88,465		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	購入なし			
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	修繕費は30万円を予算計上し支出。迅速な修繕が必要な案件を最優先に対応し、緊急性の低い修繕は応急処置を施し、予算を鑑みて適切に支出していると考えます。
----------------------	---

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	建設水道部 都市計画課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	北信濃ふるさとの森文化公園						
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日				
根拠法令	都市公園法						
設置条例	中野市都市公園条例、中野市文化公園施設条例						
施設設置目的	地域住民の文化活動の充実と地域文化の向上を図るため						
施設概要	温室・昆虫館、サマーボブスレー、遊具、マレットゴルフ場、オートキャンプ場、多目的グラウンドほか						
施設の主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	全施設利用人数(人)		59,559	63,546	93.7%		
	全施設使用料金(円)		4,567,300	4,656,725	98.1%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>	指定管理料額	34,150,925	市収入額	4,567,300	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	38,971,817	34,150,000	<b>4,821,817</b>	38,972,833	33,250,413	<b>5,722,420</b>
	自主事業	3,402,949	1,179,000	<b>2,223,949</b>	3,278,307	730,310	<b>2,547,997</b>
合計	42,374,766	35,329,000	<b>7,045,766</b>	42,251,140	33,980,723	<b>8,270,417</b>	
職員の配置状況	支配人1名、嘱託職員1名、パート職員4名 計6名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 特になし	→	
【苦情・改善の要望】 特になし	→	

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	猛暑の影響によりマレットゴルフ利用者が減少した。また、デイキャンプ場については、本年度よりも昨年度の方がコロナウイルス感染症の影響でアウトドアである当該施設の利用者が多かった。	27
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	万全な管理体制であったため、苦情はなかった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	5	税理士の指導を受け、適正に会計処理を行った。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		29
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>27</b> (50)	施設利用者数の減については、特にマレットゴルフ場が顕著であった。その要因として、利用者の大半が高齢者であるため、コロナの感染リスクを恐れた結果であると推測する。
(2) 財務の視点	<b>17</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>29</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>12</b> (20)	
<b>年度評価</b>	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
修繕費 (円)	社用車修繕	16,850	0	
	除雪機修繕	55,200	0	
	小破修繕(昆虫館温水配管他9件)	314,816	0	
	プリンター修理	100,000	0	
	合計	486,866	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		1,000,000		
差額		-513,134		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
備品 購入費 (円)	購入なし			
	合計		0	0
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	建設水道部 都市計画課	評価対象年度	令和4年度		
施設名称	高梨館跡公園						
指定管理者	有限会社 山本組	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				
根拠法令	都市公園法						
設置条例	中野市都市公園条例						
施設設置目的	公共の福祉の増進に資するため。						
施設概要	高梨邸、駐車場、土塁、空堀、庭園、建築跡、木橋ほか(全体面積:1.5ha)						
施設の主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	使用件数(件)		21	13	161.5%		
					0.0%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	<b>不採用</b>	指定管理料額	2,963,886	市収入額	6,965	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	2,997,737	2,963,886	<b>33,851</b>	2,997,739	3,001,092	<b>-3,353</b>
	自主事業	0	0	<b>0</b>	0	0	<b>0</b>
合計	2,997,737	2,963,886	<b>33,851</b>	2,997,739	3,001,092	<b>-3,353</b>	
職員の配置状況	管理人1名、作業員2名、清掃員2名、事務員1名、合計6名(正規職員3名、臨時職員3名)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】	→	
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	昨年度よりもコロナウイルス感染症が落ち着き利用者数が増加した。	29
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	万全な管理体制であったため、苦情等はなかった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	2	自主事業の開催に積極的な姿勢が見られなかった。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	5	昨年度より施設使用料が増加した。	17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	地元区から清掃等について高評価を頂いた。	33
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	期待以上の管理がされており、市からの改善指導等がなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	5	期待以上の保全対策がされており、事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	4	基本協定書に定める人員以上の常勤職員を配置していた。	14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4	草刈、除雪作業等に熟練された職員を配置する配慮があった。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画が難しかったが、地元区との共催等自主事業を期待したい。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	<b>29</b> (50)	自主事業の開催に積極的な姿勢が見られなかった。しかし、通常の施設管理に加え、日常的に巡視点検を行ったことで、来園者に対し、安全・安心な憩いの場が提供できたことを高く評価する。
(2) 財務の視点	<b>17</b> (25)	
(3) 業務の視点	<b>33</b> (45)	
(4) 人材の視点	<b>14</b> (20)	
年度評価	<b>B</b>	
<b>要一部改善</b>		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	障子張替	9,400		
	漏水点検修理	9,460		
	草刈機修理	16,500		
	〃	20,900		
	〃	41,300		
	〃	32,100		
	合計	129,660	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		100,000		
差額		29,660		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	
----------------------	--